

教育事業部

(1) 単位互換事業

【事業の概要および実績】

本年度の単位互換事業では、設立当初より先駆的に実施してきた基幹事業であり、現在も受講者数・科目数ともに全国一の規模を誇るが、この制度を導入以来、学生を取り巻く環境が変化したこともあり、近年の受講生数は減少してきている。

このような課題を解消し、加盟大学の学生の利便性を向上させ、すべての加盟大学・短期大学が制度を活用できるようにするため、単位互換事業及び生涯学習事業の充実を図った。

また、学生の出願機会を増やすために、2012年度から実施した「後期出願（9月）」では、例年減少が続く出願者を現状維持に留めるなど、一定の効果が認められたため、次年度に向けても継続し、出願動向や学生のニーズを引き続き注視する。

<単位互換事業の開講>

本年度単位互換事業は、各単位互換大学から540科目（内訳：Eラーニング科目17科目、プラザ科目83科目、オンキャンパス科目440科目）の提供により開講。コーディネート科目は27科目となっている。

前期の出願者は5,217名、eラーニング科目892名、プラザ科目は2,555名、コーディネート科目は合計で947科目であった。

※単位互換出願者がなかった科目は、141名（うち、プラザ科目3科目）

<追加出願（6月）>

追加出願にかかわって出願者133名（昨年比▲197名）、履修者133名（昨年比▲191名）であり、昨年度よりも大幅に減少した。もっとも大きい要因としては、例年最も多く出願をしている立命館大学生が昨年度までは実施していた追加出願（出願者・履修者：156名）を今年度から廃止し、出願機会が前期のみとなったことがあげられる。その他10名以上出願が減少したのは京都産業大学、明治国際医療大学、京都工芸繊維大学であり、10名以上出願が増加したのは同志社大学であった。

<後期出願（9月）>

後期出願については、実施しない大学が3校増加したにもかかわらず出願者数402名（昨年比159名増）、履修者393名（昨年比154名増）となり、減少した追加出願の出願者数・履修者数を補填するような形となった。京都産業大学が出願者数249名（昨年比84名）となり、もっとも大幅に増加した。

本年度についての最終の出願者数は5,754名（昨年比▲301名）、履修者は4,952名（昨年比▲649名）となり、全体では減少した。

<障がいのある学生支援事業（ノートテイク養成講座【初級編】）>

日程 2013年5月18日（土）14時00分～16時30分

会場 キャンパスプラザ京都

主催 京都市福祉ボランティアセンター 公益財団法人 大学コンソーシアム京都

<実績>参加者数：26名

<e-京都ラーニング「Camtasia 研修会」>

日程 2013年6月28日（金）18時～20時半

会場 キャンパスプラザ京都

主催 大学コンソーシアム京都（教育事業部）

実績 学生4名（京都女子大学）

概要 eラーニングコンテンツを製作する主要環境である「カムタジア」の研修会を実施した。

基本的にはコンテンツ製作は教員が行うが、学生「TA」がそのサポートを行う大学も多

く、それらの学生への研修を行うことにより同事業・コンテンツの継続・充実を目指す。

7月30日(火)～	プラザ科目 春学期試験(～8月4日)
8月6日(火)	夏期集中講座(～9月21日)
9月9日(月)	追加出願開始
9月28日(土)	プラザ後期科目開始

(2) 生涯学習(京カレッジ)事業(指定管理者事業)

【事業の概要および実績】

本年度の生涯学習事業は、例年「団塊の世代」の出願者が継続して出願している状況であるが、新規の出願者の拡大を図るよう検討した結果、2012年度から従来の出願方法に加えて、大学コンソーシアム京都のHPからWeb方式による出願方法を追加した。また、広報活動では、新聞折込みチラシの配布地域の見直しにより、新規出願者の掘り起しを目指す。2013年度以降も引き続き、より魅力的な事業となるようプログラムの検討・開発を行い、更なる充実・発展を目指し、現在の受講生の多数を占める団塊の世代だけでなく、受講者層をさらに拡大できるよう科目の豊富化を図る。

<京カレッジの開講>

本年度京カレッジは、36大学・1機関より428科目が提供され、506名(前年より94名減)、延べ人数は1,074名(前年より191名減)での開講となった。一人あたりの平均出願科目数は前年度と同じく2.1科目であったものの、2年連続で出願者数は実数及び延べ人数ともに減少した。

8月に実施した後期出願についても、29名から40科目への出願があった。今後、科目開設大学の履修可否の通知後、手続きを終えられた方が受講されることとなる。

<京都学講座～みやこの表象(すがた)～開講> 全10回終了

日程 下記のとおり 毎回10時50分～12時20分

会場 キャンパスプラザ京都 4階第2講義室

<実績>

第1回(5/25)「描く～古地図に表れた江戸の京～」上杉和央氏(京都府立大学文学部 准教授)

※出席者数:93名【京カレッジ受講者87名、当日参加者6名(一般:4名、学生:2名)】

第2回(6/1)「奏でる～『京都』のうた・歌の世界における『京都』～」太田道宏氏 他

※出席者数:75名【京カレッジ受講者71名、当日参加者4名(一般:4名)】

第3回(6/8)「彩る～『貝合せ』のおもしろさ～」並木誠士氏(京都工芸繊維大学大学院教授)

※出席者数:88名【京カレッジ受講者79名、当日参加者9名(一般:3名、学生:6名)】

第4回(6/22)「写す～古写真で読み解く京都～」村上忠喜氏(京都市文化財保護課係長)

※出席者数:84名【京カレッジ受講者77名、当日参加者7名(一般:5名、学生:2名)】

第5回(7/13)「映す～映画都市の形成とその技術～」富田美香氏(立命館大学映像学部准教授)

※出席者数:83名【京カレッジ受講者77名、当日参加者6名(一般:5名、学生:1名)】

実地講座【前期】「撮影所とは何か～株式会社松竹撮影所～」※出席者数:34名

第6回(9/7)「笑う～狂言という名のお芝居～」茂山正邦氏(大蔵流狂言師)

※出席者数:86名【京カレッジ受講者72名、当日参加者14名(一般:12名、学生:2名)】

第7回(9/21)「戯ぶ～蹴鞠を楽しむ～」上田恒弘氏(蹴鞠保存会理事長)

※出席者数:75名【京カレッジ受講者71名、当日参加者4名(一般:3名、学生:1名)】

第8回(10/05)「創る～川端康成『古都』と<トポス>としての京都～」

有田和臣氏(佛教大学 文学部教授)

※出席者数:71名【京カレッジ受講者66名、当日参加者5名(一般:3名、学生:2名)】

第9回(10/12)「画く～洛中洛外図から読み解く戦国時代の京都～」

鋤柄俊夫氏(同志社大学 文化情報学部 教授)

※出席者数:71名【京カレッジ受講者62名、当日参加者9名(一般:7名、学生:2名)】

第10回(11/2) 「造る～町並み景観の形成と展開～」

山崎正史氏 (立命館大学 理工学部 特任教授)

※出席者数：85名【京カレッジ受講者75名、当日参加者10名（一般：7名、学生：3名）

実地講座【後期】「京町屋の洗練～祇園の街並みを訪ねる～」※出席者数：23名

7月20日(土) 後期登録科目の発表

8月17日(土) 後期登録の出願開始(～8月31日)

(3) 施設の提供及び管理運営事業 (指定管理事業)

【事業の概要および実績】

本事業は、京都市との指定管理協定に基づき、京都市の大学のまち交流センター（キャンパスプラザ京都）の施設管理（修繕および業者指導業務など）、施設管理（大学および一般利用者への貸館業務など）マネジメント全体を統括運営するものである。指定期間：2011年4月～2015年3月の4年間。

<実績>

2013年度の状況は下記の通り。目標：1日利用者数1,500人、施設利用率65%

	2013年4月	2012年4月	前年同月比
月間入館者数	30,397	29,134	+1,263
1日平均利用者数	1,216	1,165	+51
開館時からの総入館者数	6,014,826	5,596,217	+418,609
施設利用率	56.9%	55.4%	+1.5%
	2013年5月	2012年5月	前年同月比
月間入館者数	35,263	34,997	+266
1日平均利用者数	1,306	1,296	+10
開館時からの総入館者数	6,050,089	5,631,214	+418,875
施設利用率	61.0%	58.9%	+2.1%
	2013年6月	2012年6月	前年同月比
月間入館者数	37,841	40,529	△2,688
1日平均利用者数	1,455	1,559	△104
開館時からの総入館者数	6,087,930	5,671,743	+416,187
施設利用率	66.1%	67.8%	△1.7%
	2013年7月	2012年7月	前年同月比
月間入館者数	37,910	38,279	△369
1日平均利用者数	1,458	1,531	△73
開館時からの総入館者数	6,125,840	5,710,022	+415,818
施設利用率	66.9%	66.3%	+0.6%
	2013年8月	2012年8月	前年同月比
月間入館者数	33,045	35,008	△1,963
1日平均利用者数	1,224	1,297	△73
開館時からの総入館者数	6,160,732	5,745,030	+415,702
施設利用率	64.3%	60.6%	+3.7%
	2013年9月	2012年9月	前年同月比
月間入館者数	35,829	36,285	△456
1日平均利用者数	1,433	1,396	+37
開館時からの総入館者数	6,195,561	5,781,315	+414,246
施設利用率	66.9%	68.7%	△1.8%
	2013年10月	2012年10月	前年同月比

月間入館者数	35,961	38,637	△2,676
1日平均利用者数	1,383	1,486	△103
開館時からの総入館者数	6,232,522	5,819,952	+412,570
施設利用率	66.6%	69.8%	△3.2
	2013年11月	2012年11月	前年同月比
月間入館者数	36,768	36,084	+684
1日平均利用者数	1,414	1,388	+26
開館時からの総入館者数	6,269,290	5,856,036	+413,254
施設利用率	69.7%	68.2%	+1.5
	2013年12月	2012年12月	前年同月比
月間入館者数	26,870	29,547	△2,677
1日平均利用者数	1,355	1,285	+70
開館時からの総入館者数	6,327,315	5,885,583	+441,732
施設利用率	66.6%	66.6%	0
	2014年1月	2013年1月	前年同月比
月間入館者数	31,155	28,828	+2,327
1日平均利用者数	1,355	1,253	+102
開館時からの総入館者数	6,327,315	5,914,411	+412,904
施設利用率	68.3%	64.9%	+3.4
	2014年2月	2013年2月	前年同月比
月間入館者数	37,178	34,478	+2,700
1日平均利用者数	1,549	1,437	+112
開館時からの総入館者数	6,364,493	5,948,889	+415,604
施設利用率	75.8%	73.7%	+2.1
	2014年3月	2013年3月	前年同月比
月間入館者数	36,288	37,387	△1,099
1日平均利用者数	1,396	1,385	+11
開館時からの総入館者数	6,400,781	5,986,276	+414,505
施設利用率	76.7%	68.8%	+7.9

高大連携事業部

(1) 京都高大連携研究協議会事業

【事業の概要および実績】

京都高大連携研究協議会は、京都の「産・官・学（高校・大学）」が一堂に会し、「個別高校・大学間の〈個と個の連携〉ではなく、組織と組織による〈面と面での連携〉によって高大連携を実現して達成する」ことを目的とし、京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都府私立中学高等学校連合会・京都商工会議所・大学コンソーシアム京都が構成団体となり、2003年5月に発足した。発足以来、京都独自の高大連携事業について様々な角度から研究・開発に取り組むために様々な事業の展開を行っている。

なお、本事業については大学コンソーシアム京都が主催する事業ではなく、「京都高大連携研究協議会事業」として京都高大連携研究協議会の会議体において企画内容の検討・実施の是非が決定される。

◆高大連携教育フォーラム

高校・大学間の連携・接続教育問題における「国内動向の情報共有と京都における取り組みの情報発信」を目的として実施。2013年度の企画内容は以下のとおり。

○開催概要

日程	2013年12月6日（金）9時30分～17時30分
会場	キャンパスプラザ京都
主催	京都高大連携研究協議会（京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府私立中学高等学校連合会、京都商工会議所、公益財団法人大学コンソーシアム京都）
テーマ	新しい時代を拓く高大接続の「学び」とは ー京都からの発信ー

○部構成・参加人数

第1部（基調報告・実践事例紹介・特別講演）		
09:30～ 09:35	開会挨拶 北村 聡（京都高大連携研究協議会運営委員会 委員長／京都外大西高等学校 校長）	140名
09:35～ 10:00	基調報告 内村 浩（大学コンソーシアム京都 高大連携推進室 室長／京都工芸繊維大学 アドミッションセンター 教授）	
10:00～ 12:15	実践事例紹介①「夢見る連携教育 ー先端に触れないと「山」が見えないー」 京都市立洛陽工業高等学校	
	実践事例紹介②「キャリア教育として実践する入学事前授業」 湘北短期大学	
	実践事例紹介③「京都市立塔南高等学校教育みらい科における高大連携の実践」 京都市立塔南高等学校	
	実践事例紹介④「京都府北部地域キャリア教育企画「まるっとーく in 綾部」での取り組み」 大学コンソーシアム京都	
13:15～ 15:15	特別講演「対話による一人ひとりの知の創造から新しい高大連携の形を探る」 三宅なほみ（東京大学 大学発教育支援コンソーシアム推進機構 副機構長／ 大学総合教育研究センター 教授）	133名

第2部 (分科会)		
15:30～ 17:30	第1分科会【表現技法】 「学び合いの手法を使って、シンポジウムの議論を深める」	16名
	第2分科会【数学】 「新教育課程の教育問題を考える」	24名
	第3分科会【英語】 「新しい学力観に基づいた指導力を持つ人材育成のための高大連携」	17名
	第4分科会【理科】 「高大連携による理科教育充実のための取組 (京都物理グランプリ)」	18名

その他、登壇者・京都高大連携研究協議会関係者33名参加

合計196名参加

◆実践研究共同教育プログラム

高校教員と大学教員が共同で授業プログラムを開発し、高校の正課授業の中で継続して実践する取り組み。生徒には大学での「学び」に触れる機会、高校・大学教員には教授法の共有やそれぞれの現状を把握する機会となっている。

2013年度実施校は以下のとおり。

高校名	京都府立鴨沂高等学校 (新規採択)	
テーマ	フィールドワーク等を中心とした主体学習法における高大接続の確立	
授業教科・科目名	地歴・公民科 (科目名：日本史B)・理科 (科目名：物理)	
対象	日本史B：3学年32名、物理：3学年29名	
協力大学 教員	川端泰幸 (大谷大学 文学部 講師) ※日本史B担当 内村 浩 (京都工芸繊維大学 アドミッションセンター 教授) ※物理担当	
講義日程	【川端先生】9/30 (月)、10/4 (金)、10/7 (月) 計3回 【内村先生】11/20 (水)、12/13 (水) 計2回	

高校名	京都府立園部高等学校 (実施2年目)	
対象	京都国際科1年生18名	
授業教科・科目名	京都国際科 (科目名：国際理解I)	
テーマ	今日の世界を知る ～明日の世界を考える	
協力大学 教員	羽藤 由美 (京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科 教授) 内藤登世一 (京都学園大学 人間文化学部 教授) 戸田 五郎 (京都産業大学 法学部 教授)	
講義日程	【羽藤先生】テーマ：「国際語」としての英語 ーなぜ英語を学ぶのかー 9/30 (月)、9/19 (木)、9/26 (木) 計3回 【内藤先生】テーマ：国際社会と環境問題・資源問題 10/31 (木)、11/7 (木) 計2回 【戸田先生】テーマ：現代の国際社会と国際法の精神 11/22 (金)、11/26 (火) 計2回	

高校名	京都市立洛陽工業高等学校 (実施2年目)	
対象	2年生1クラス11名	
授業教科・科目名	創造技術科 電気コース (科目名：HYPER電気実習)	
テーマ	そうだリニア、作ろう。 ～リニアモーターによる電磁気学プロジェクト型学習～	

協力大学 教員	長岡 直人 (同志社大学 理工学部 教授) 川畑 良尚 (立命館大学 理工学部 准教授)
講義日程	【長岡先生】 6/5 (水)、10/9 (水)、10/23 (水)、10/30 (水)、11/6 (水)、 12/4 (水) 計6回 【川畑先生】 9/18 (水)、9/24 (火)、10/8 (火)、10/29 (火)、11/5 (水)、 11/26 (水)、12/3 (火)、12/17 (火) 計8回 【長岡先生&川畑先生】 9/11 (水)、12/18 (水) 計2回

高校名	京都府立東稜高等学校 (実施3年目)
対 象	3年生 58名、2年生 70名
授業教科・科目名	地歴・公民科 (科目名：世界史・地理・政治経済)
テーマ	文明と環境
協力大学 教員	武田富美子 (立命館大学 生命科学部 准教授) 植村 善博 (佛教大学 歴史学部 教授) 鈴木 寿志 (大谷大学 文学部 准教授) 高野 拓樹 (京都光華女子大学 地域連携推進センター 准教授)
講義日程	【武田先生】 テーマ：文明と疾病 -環境問題とアレルギー- 7/9 (火) 【高野先生】 テーマ：持続可能な社会の実現に向けて 11/19 (火) 【鈴木先生】 テーマ：分析を用いた文明と環境の検証 12/6 (金) 【植村先生】 テーマ：災害と文明-地震災害をいかに乗り越えたか- 12/12 (木)

2013年度 実践研究共同教育プログラム成果報告会

日時 2014年2月15日(土) 14時～17時40分

会場 キャンパスプラザ京都 2階ホール

参加 京都府立東稜高校：教員2名・生徒9名 京都府立園部高校：教員3名・生徒11名
京都市立洛陽工業高校：教員5名・生徒11名 京都府立鴨沂高校：教員3名
大学・協議会関係者 11名

第1部は実践校による今年度のプログラム成果報告。第2部は今年度の実践研究共同教育プログラムを振り返る機会として実施。各高校教員と大学教員で本プログラムについて維持すべき点・改善すべき点についてグループワークをしていただいた後、全体で共有を行った。

◆キャリア教育企画

高等学校の学習指導要領(2009年3月)に「キャリア教育」の記述が盛り込まれ、初等中等教育から高等教育までを通じた社会的・職業的自立をめざすキャリア教育・職業教育の展開が求められている中、京都高大連携研究協議会では高校生が将来に向かうための学習意欲喚起、また、各校におけるキャリア教育の推進に寄与することを目的に2012年度より「キャリア教育」企画を開始。今年度の実績は以下のとおり。

○Kyotoカタリ場

高校名		対象		実施スケジュール		
京都府立	洛西高校	1年生	362名	10月23日(水)	13:20～15:10	終了
京都府立	乙訓高校	1年生	241名	10月30日(水)	13:25～15:15	終了
京都市立	日吉ヶ丘高校	2年生	265名	11月6日(水)	13:15～15:05	終了
京都市立	紫野高校	2年生	360名	11月11日(月)	14:20～16:10	終了
京都府立	洛水高校	2年生	223名	11月28日(木)	13:15～15:15	終了
京都府立	東稜高校	1年生	274名	12月6日(金)	11:00～12:40	終了

京都府立	向陽高校	1年生	199名	1月30日(木)	13:25~15:15	終了
京都府立	西城陽高校	1年生	282名	2月19日(水)	13:30~15:20	終了
京都府立	桃山高校	1年生	240名	2月20日(木)	14:05~15:55	終了
京都府立	東宇治高校	1年生	281名	2月21日(金)	13:30~15:20	終了

○大学生との交流&大学見学ツアーin 京都

5月18日(土) 10:00~12:00 ※三重県 私立海星高校の企画に協力

○女子生徒向けキャリア教育企画

「ガールズキャリアトーク in 京都

～イマどきの女性のキャリアって? 素敵なトークで考えてみよっ♪～」

日程: 12月14日(土) 9:30~12:00

会場: キャンパスプラザ京都 第2会議室

参加対象: 女子高校生・女子大学生

内容: 女性社会人(ゲストスピーカー)とのグループワーク・ディスカッションを通じて、自身のキャリア形成と次世代の職業人としての意識向上を図る。

参加者数: 高校生6名、大学生10名、社会人ゲストスピーカー10名

○京都府北部対象キャリア教育企画

「まるっと一く in 綾部」

日程: 2014年3月15日(土) 9:00~11:30

会場: 京都府立綾部高校

内容: 高校生が大学生・社会人を交えたグループワークを通して、自主的に自身のキャリアについて考える力を身に付けることを目的とする。

参加: 高校生(1年生)50名・大学生スタッフ20名(11大学)

社会人(綾部在住の方)12名

(2) 高大接続事業

【事業の概要および実績】

京都府・滋賀県(近府県含む)の高校生および保護者を主な対象者として、京都の大学での「学び」の魅力を積極的に伝え、大学への進学意欲を喚起することを目的とする。主に高校1・2年生を対象とし、当財団加盟大学の特色ある模擬講義や体験型講座等を通じて、自らの進路を考えるとともに高校の授業にいっそう意欲的に取り組んでいく契機とすることも大きな目的である。

◆滋賀会場

日程	2013年6月9日(日) 9時30分~14時00分
会場	立命館大学 びわこ・くさつキャンパス
主催	公益財団法人 大学コンソーシアム京都
協賛	大学生協京都事業連合、(株)フラットエージェンシー、(株)共立メンテナンス
後援	文部科学省、全国高等学校進路指導協議会、日本私立中学高等学校連合会、財団法人日本進路指導協会、京都府、京都市、滋賀県教育委員会、大津市教育委員会、草津市教育委員会、大阪府私立中学高等学校連合会、滋賀県私立中学高等学校連合会
参加大学数	26大学
参加者数	677名(内訳: 高校生452名/保護者156名/その他69名) ※湖北地域、京都市内から20名以上参加する高校については、送迎バスを手配(8高校375名が乗車)。 ※参考) 昨年度679名(内訳: 高校生397名/保護者282名、バス乗車5校263名)

企画内容	模擬講義 (22 講義)、体験型講座 (9 講座)、保護者向け講座 (3 講座) 大学相談ブース、キャンパスライフ紹介コーナー 現役大学生によるキャンパスライフ大研究、サークルによるパフォーマンス 理系4学部・スポーツ健康科学部先端施設見学ツアー、高校生向けキャリア講座 数学講座、入試対策講座、Kyotoカタリ場、高校教員向け講座
------	--

◆京都会場

日程	2013年10月26日(土)9時00分～15時00分
会場	龍谷大学 深草キャンパス
主催	京都高大連携研究協議会(京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府私立中学高等学校連合会、京都商工会議所、公益財団法人大学コンソーシアム京都)
協賛	大学生協京都事業連合、(株)フラットエージェンシー、(株)共立メンテナンス
後援	文部科学省、全国高等学校進路指導協議会、日本私立中学高等学校連合会、財団法人日本進路指導協会、京都府、京都市、兵庫県教育委員会、奈良県教育委員会、和歌山県教育委員会、滋賀県教育委員会、大阪市教育委員会、大阪府私立中学高等学校連合会
参加大学数	27大学
参加者数	2,671名(内訳:高校生2,404名/保護者239名/その他28名) 京都府北部地域から20名以上参加する高校については、送迎バスを手配した結果、13高校704名が乗車。 ※参考 昨年度実績 来場者数2,722名(内訳:高校生2,470名/保護者244名/その他8名) バス参加:13高校608名
企画内容	模擬講義(28講義)、体験型講座(10講座)、保護者向け講座(3講座) 大学相談ブース、キャンパスライフ紹介コーナー、高校生向けキャリア講座 現役大学生によるキャンパスライフ大研究、数学講座、入試対策講座 Kyotoカタリ場、高校教員向け講座、瀬田キャンパス理工系研究室公開参加ツアー(連携企画)

(3) インターンシップ事業

【事業の概要および実績】

本年度のインターンシップ事業では、事業導入時より受講生、受入団体の拡大とプログラム水準の高度化を進めてきただけでなく、インターンシップを自大学で実施することが困難な大学・短期大学に所属する学生に対し、就業体験をおこなう貴重な機会を提供している。今後は、インターンシップ研究会において、一定の役割を終えた「コンソーシアムのインターンシップ」の長期的展望を策定し、受け入れ先や学生などの数・量的な面だけでなく、プログラム内容など質的にも充実した事業を目指す。

◆インターンシップ出向ガイダンス

日程 以下、実績一覧のとおり
会場 加盟大学 11校15回説明 計2,969名参加
主催 公益財団法人 大学コンソーシアム京都
その他 ※4/13(土)プログラム事前説明会@キャンパスプラザ京都 : 173名
※4/18(木)プログレスコース説明会@キャンパスプラザ京都 : 29名

◆ビジネス・パブリックコース

日程 以下、実績一覧のとおり
会場 龍谷大学深草学舎、キャンパスプラザ京都

主 催 公益財団法人 大学コンソーシアム京都
2013 実績 【受入先】登録団体数：234 受入団体数：194
【学生】出願者数：580 名 実習許可者数：411 名

◆プログレスコース

日 程 以下、実績一覧のとおり
会 場 キャンパスプラザ京都
主 催 公益財団法人 大学コンソーシアム京都
2013 実績 【受入先】登録団体数：11 受入団体数：7
【学生】出願者数：47 名 実習許可者数：45 名

◆実績一覧

合否結果発表まで (6/1(土)発送)	各大学宛て出願学生一覧データ送付 選考結果発表準備 プログレス (府教委は別 Ver.) と各実習日誌・レポート表紙見積依頼
3月29日～4月19日	インターンシップ出向ガイダンス
4月13日(土)18:00～	プログラム事前説明会 (学生向け)
4月17日(水)15:30～	ビジネス・パブリックコース受入れ先ご担当者説明会
〃 18:30～	第1回ビジネス・パブリックコースコーディネーター会議
4月18日(木)17:30～	プログレスコース受入れ先ご担当者説明会
〃 18:15～	プログレスコース説明会 (学生向け)
5月7日(火)・8日(水)	財団職員対象：出願・面接受付に関する説明会①
5月10日(金)・11日(土)	出願・面接
5月12日(日)	「受入れ先選考」実施団体へ出願時書類の送付
5月15日(水)9:00～	受入れ先による選考開始 (5/25 までに終了)
6月1日(土)9:00～	HPにて選考結果発表 (併せて結果通知郵送)
6月7日(金)8日(土)	受講手続
6月12日(水)	受入れ先への受講生確定通知発送
6月15日(土) 9:15～	第2回ビジネス・パブリックコースコーディネーター会議
6月15日(土)10:00～	第1回ビジネス・パブリックコース事前学習
6月16日(日)18:45～	プログレスコース京都サンガF. C. 開講式
6月20日(木)17:00～	プログレスコース 第1回コーディネーター会議
6月20日(木)18:00～	第1回プログレスコース講義
6月21日(金)18:30～	第1回インターンシップ研究会
6月27日(木)18:00～	第2回プログレスコース講義
6月29日(土)10:00～	第2回ビジネス・パブリックコース事前学習
6月29日(土)12:50～	第3回ビジネス・パブリックコースコーディネーター会議
7月 4日(木)18:00～	第3回プログレスコース講義
7月 6日(土)10:00～	第3回ビジネス・パブリックコース事前学習 (前期最終)
7月11日(木)17:00～	第2回プログレスコースコーディネーター会議
7月11日(木)18:00～	第4回プログレスコース講義
7月12日(金)13日(土)	ビジネス・パブリックコース事前学習レポート提出
7月18日(木) 18:00～	第5回プログレスコース講義 (前期最終)
8月 3日(土)9:00～	プレ・インターンシップ講義「インターンシップ入門 (課題設定1)」
8月 4日(日)9:00～	プレ・インターンシップ講義「インターンシップ入門 (課題設定2)」
8月30日(金)9:00～	プレ・インターンシップ講義「インターンシップ入門 (振り返り・発表1)」
8月31日(土)9:00～	プレ・インターンシップ講義「インターンシップ入門 (振り返り・発表2)」
9月28日(土)9:45～	第4回ビジネス・パブリックコースコーディネーター会議

9月28日(土)10:00～	第4回ビジネス・パブリックコース事後学習
10月3日(木)17:30～	第3回プログレスコースコーディネーター会議
10月3日(木)18:00～	第6回プログレスコース講義
10月4日(金)5日(土)	ビジネス・パブリックコース事後学習レポート提出
10月17日(木)18:00～	第7回プログレスコース講義
10月31日(木)18:15～	第4回プログレスコースコーディネーター会議
10月31日(木)18:00～	第8回プログレスコース講義
11月12日(木)13日(金)	財団職員対象：2014受入れ先訪問に関する説明会
11月15日(金)18:30～	第2回インターンシップ研究会
11月16日(土)10:40～	第9回プログレスコース講義(成果報告会)
11月19日(火)～	財団職員による受入れ先訪問開始(1/10までにアポ取り・1/18までに訪問)
11月26日(火)10:00～	受入れ先のWebエントリー開始(原則1次～1/25まで、2次～4/17まで)
11月29日(金)30日(土)	プログレスコースレポートおよびプロジェクト報告書提出
12月5日(木)15:00～	全コース受入れ先・大学担当者意見交換会(全体会・交流会)
" 18:30～	第5回ビジネス・パブリックコースコーディネーター会議
12月20日(金)18:30～	第3回インターンシップ研究会
1月16日(木)18:00～	プログレスコース受入れ先・コーディネーター振り返り会
2月28日(金)18:30～	第4回インターンシップ研究会
3月6日(木)15:00～	大学担当者会議

高等教育研究推進事業部

(1) FD 関係事業

【事業の概要および実績】

大学コンソーシアム京都のFD (Faculty Development) 事業は各加盟校が社会から求められる変化に対応するための下支えとなるべく、これまで実施してきた加盟校教職員の教育力向上を目的とした取組を継続・発展させることを目的として事業を推進していく。

具体的には先進的なFD活動の事例報告や情報交換の場を提供し、加盟校のFD活動の深化、充実ならびに大学教育、授業改善に関する組織的実践・研究報告の場として、更には日本の高等教育におけるFD活動の普及と拡大を目的としたFDフォーラムの開催、2008年度より実施している階層別研修(FDを推進する役割を担う教職員を対象とした京都FDer塾、新任教員研修、大学執行部を対象とした京都FD執行部塾)の企画・運営、FDハンドブックの制作を軸に、そのために必要な高等教育関連情報の適切な収集、タイムリーな情報提供、効果的な情報発信の機能の強化を図り、1年後に控えた第4ステージプランにおいてさらに加盟校にとって資する活動となるべく取組を深化、高度化させていく。

◆FD研修企画

<FD執行部塾>

日程：2013年6月29日(土) 11:20~12:20

場所：京都タワーホテル9F 飛雲の間

人数：42名(2012年度 53名)

<京都FDer塾 特別公開講座(共催：愛媛大学)>

日程：2013年10月4日(金)~6日(日)

場所：キャンパスプラザ京都

内容：ファカルティ・デベロッパー養成講座、SDC養成講座

人数：ファカルティ・デベロッパー養成講座：39名、SDC養成講座：45名

<京都FDer塾 教学マネジメントを支えるキーワード～“PDCAサイクル”の果たす役割とは?～>

日程：2013年11月15日(金)

場所：池坊短期大学

講師：安岡 高志先生(立命館大学 教育開発推進機構 教授)

内容：教学マネジメントが円滑に実施できている状態とは、組織として明確な達成目標、評価指標、評価基準を設定し、この目標を常に意識しながら業務(教育)を行い、成果を評価指標と基準にしたがって評価を行うことであり、これを一般的にPDCAサイクルと呼んでいる。

「PDCA」サイクルのPlanにおいて決定すべき4項目の達成目標、行動目標、評価指標、評価基準の設定の仕方について解説すると共に、自組織のあるべき姿の振り返りを行う。

人数：12名(応募者16名、当日欠席4名：華頂短期1、京都産業1、佛教2、龍谷1、京都光華女子7、京都薬科1、大学コンソーシアム京都3)

<京都FDer塾 教学マネジメントを支えるキーワード～“教職協働”で実現する対話による教学マネジメント支援～>

日程：2013年12月9日(月) 18:00~20:00

場所：池坊短期大学

講師：耳野 健二 先生(京都産業大学学長特命補佐・教授) 森 洋 氏(京都産業大学学長室課長)

内容：京都産業大学では教学マネジメントを支援する活動として教育開発支援センターの教職員が協働で各学部執行部を定期的に訪問し、大学執行部の方針の伝達・理解の促進を行うとともに学部の要望をヒアリングし、執行部へのフィードバックを行っている。

「学部回り」と呼ぶこのミドルアップダウンの取り組みを開始した経緯、問題意識、取組を通じて得た知見、今後の課題などを事例提供いただき、自組織における執行部と現場とのコミュニケーション方法の課題と解決策について検討する。

人数：13名（同志社1、立命1、華頂短大1 京都外大1、佛教1、京都光華女子5、京都薬科1、大学コンソーシアム京都2、）

<京都FDer 塾 教学マネジメントを支えるキーワード ～実効性のある教学マネジメントの条件とは～>

日程：2014年1月25日（土）

場所：キャンパスプラザ京都

講師：【基調講演/指定討論者】小林 直人 氏（愛媛大学 教育企画室長・教授）

【加盟校事例発表】《佛教大学》岡崎 祐司 氏（教育推進機構長・教授）

吉川 奈見 氏（教育推進部 教育推進課）《立命館大学》米山 裕 氏（教学部長・教授）

山本 修司 氏（教学部 事務部長）

内容：近年、大学改革を進めるうえで様々な教育取組や資源を有機的につなげる「教学マネジメント」の「意味」と「役割」を再確認し、大学コンソーシアム京都加盟校の事例発表をもとに、実効性のある教学マネジメント体制構築をどのように行っていくべきかについて地域性や規模・設置形態を考慮しながら議論した。

参加者数：89名

<新任教員研修>

《プログラムA》

1日目<9月7日（土）>

	内容	講師・担当者
PM①	大学教員のキャリア開発	龍谷大学 林 久夫 先生
PM②	アイスブレイク	川面 きよ 専門研究員
PM③	授業デザインワークショップ	立命館大学 安岡 高志先生

2日目<9月8日（日）>

	内容	講師・担当者
AM①	学習支援・学生支援ワークショップ	京都教育大学 西村 佐彩子先生
PM①	学習者中心の授業ワークショップ	京都精華大学 筒井 洋一 先生

(1) 参加者数

両日とも23名（これに加え、筒井先生も担当プログラム以外の時間は受講者として参加された。）

(2) 参加内訳

明治国際医療大学：9名、京都工芸繊維大学：4名、京都精華大学：3名、京都薬科大学：2名、京都大学：1名、京都外国語大学：1名、京都光華女子大学：1名、京都女子大学：1名、京都文教短期大学：1名

(3) 参加証、修了証発行者

参加証発行者数：23名

修了証発行者数：4名（修了書発行者は、全員、2012年度のプログラムBを受講していた。）

《プログラムB》

1日目<3月8日（土）>

	内容	講師・担当者
PM①	京都の大学・大学のまち京都	徳永 寿老 事務局長

PM②	アイスブレイク	川面 きよ 専門研究員
PM③	成績評価ワークショップ	立命館大学 鳥居 朋子 先生

2日目<3月9日(日)>

	内容	講師・担当者
AM	授業設計ワークショップ	川面 きよ 専門研究員
PM	授業実践ワークショップ(模擬授業)	

(1) 申込者数

17名(うち2名は1日のみ参加)

(2) 申込内訳

京都工芸繊維大学：4名、明治国際医療大学：3名、京都学園大学：2名、京都橘大学：2名

京都精華大学：2名、佛教大学：2名、京都光華女子大学：1名、京都大学：1名

(3) 修了証発行者数

8名(2013年度プログラムA受講済み)

◆FD研究

内容	日程など
高等教育イベントナビ「教まちや」	1) 開発完了：2013年11月 2) 正式リリース：2013年12月19日
「まんがFDハンドブック Vol.3 ～授業奮闘編～」	1) 発行日：2014年2月22日 2) 価格：1000円 3) 発行部数：3000部 (内、マーケティング分 100部) 販売出荷数：535部(3/31時点) 参考：既刊分累計出荷数(無料) Vol.1：13,371部(3/31時点) Vol.2：12,893部(3/31時点)

◆FDフォーラム

内容	日程	場所
第19回FDフォーラム	2月22日(土)、23日(日)	龍谷大学 深草キャンパス

1. 全体テーマ

「社会を生き抜く力を育てるために」

2. シンポジウム

実施日：2月22日(土) 場所：3号館

	シンポジウムⅠ	シンポジウムⅡ
テーマ	京都発！地域社会まるごと学習コミュニティ ー共に育ち、共に学び合う社会を創るー	未来を切りひらく学生を育てるには
担当	河原先生(京都橘)	長谷川先生(龍大)
会場	3号館3F301教室	3号館2F201教室
定員	620名 ※教室収容：713名	330名 ※教室収容：391名
加盟校 優先定員	400名	200名
参加者数	295名	292名
開会挨拶	龍谷大学 赤松 徹真 学長	長谷川先生
閉会挨拶	河原先生	龍谷大学 赤松 徹真 学長

3. 情報交換会

実施日：2月22日（土） 場所：22号館地下食堂

4. 分科会

実施日：2月23日（日） 場所：22号館

分科会	定員	テーマ	担当	参加者数
第1 (大)	150	オープンエデュケーションを活かしたFDと教育改善	飯吉先生 (京大)	53
第2 (中)	80	学生同士の支えあいを促進し、コミュニティを元気にする学生支援ー学生の居場所としてのピア・サポーター	内田先生 (京教大)	57
第3 (中)	80	大学教育をめぐる環境変化と教養教育	坂井先生 (同志社)	71
第4 (小)	50	大学図書館からの学習支援	松戸先生 (佛大)	41
第5 (小)	50	教育活動に果たす理想的な環境とはー短期大学での取り組み事例を中心にー	山田先生 (大谷)	40
第6 (小)	50	大学の授業デザイン・授業改造の新しい形ー学外の見学者と協力者と一緒に創るー	高橋先生 (精華)	46
第7 (大)	150	授業アンケートと教育の個性化	耳野先生 (産大)	120
第8 (小)	50	体験型学習の現状と課題	山下先生 (学園大)	49
第9 (中)	90	授業のパラダイムシフト	木野先生 (立命)	80
第10 (中)	50	大学におけるライティング指導の諸問題	坂本先生 (薬科大)	42
第11 (小)	50	異文化理解と多文化交流を深める授業の計画と実践	鷺見先生 (ノートルダム)	28
第12 (小)	50	産学協働でグローバル人材を育成するには	島本先生 (文教大)	42
第13 (小)	80	発達障害学生の支援 - 社会と「ツナグ」 -	畑田先生 (京外大)	60

加盟校優先定員： 分科会・大：100名 分科会・中：50名 分科会・小：30名

5. ポスターセッション

実施日：2月23日（日）ポスター展示時間：10:00-15:30、コアタイム：12:00-13:30

テーマ：加盟校の特色ある教育に関する取り組みの事例について

※加盟校単独の取り組みだけでなく、大学間連携に関する取り組み（連携先は加盟校・非加盟校を問わない）や、地域連携、産官連携の取り組みも可とする。

応募状況：9大学13件

6. 申込者数・参加者数

申込者数：885名

参加者数：832名（2日間延べ参加人数：1316名）

(2) SD 関係事業

【事業の概要および実績】

<概要>

大学コンソーシアム京都では、2001 年度に事務部門アウトソーシング事業検討委員会において、「共通化・共同化することによりコストダウン等が図れる事業」の検討を重ね、そのスケールメリットを活かした共同化事業として「大学職員共同研修プログラム」を2002年度から開始した。その後、SD 事業は徐々に拡大し、SD フォーラム (2003～)、大学アドミニストレータ研修 (2004～)、職員のための大学セミナー (2009 年度より大学みらい塾に改称) (2006～2010)、『SD ガイドブック』の発行 (2009～、2010 年度からは Web 版)、ワークショップ型研修 (2012 年度より SD ワークショップに改称) (2011～) といった事業を展開してきた。

2013 年度は、大学職員共同研修プログラム、SD フォーラム、SD ワークショップを開催予定である。研修参加者の参加意欲を促進させるよう、双方向型の研修企画を多く取り入れるなど工夫を図る

◆SD ガイドブック WEB 版

公開日：2013 年 3 月 23 日

◆大学職員共同研修

《ビジネスマナー研修基礎編 1》

日程：2013 年 3 月 21 日 (木)、22 日 (金)、27 日 (水) 9:45～17:15

場所：キャンパスプラザ京都 参加者：42 名

《ビジネスマナー研修基礎編 2》

日程：6 月 7 日 (金) 9:45-17:15 場所：キャンパスプラザ京都 参加者：8 名

《職場活性化コミュニケーション術》

日程：8 月 7 日 (水) 9:45-17:15 場所：キャンパスプラザ京都 参加者：24 名

《問題解決力向上》

日程：8 月 9 日 (金) 9:45-17:15 場所：キャンパスプラザ京都 参加者：31 名 (2 クラス開講)

《カウンセリングマインド》

日程：9 月 4 日 (水) 9:45-17:15 場所：キャンパスプラザ京都 参加者：29 名 (2 クラス開講)

《企画力向上》

日程：9 月 6 日 (金) 9:45-17:15 場所：キャンパスプラザ京都 参加者：35 名 (2 クラス開講)

◆SD ワークショップ

《産学協働教育》

日程：7 月 6 日 (土) 13:00-17:00

人数：11 名 (申込 12 名)

講師：児玉 桂子 氏 (近畿経済産業局地域経済部産業人材政策課長)

《職場活性化》

日程：7 月 20 日 (土) 13:00-17:00

人数：7 名 (申込 8 名)

講師：川内 享 氏 (京都大学情報部長)

《大学職員と高等教育政策》

日程：11 月 9 日 (土) 13:00-17:00

人数：20 名 (申込 20 名)

講師：白井 俊氏 (文部科学省文部科学省 高等教育局 大学振興課 課長補佐)

《グローバル化と大学職員》

日程：12 月 21 日 (土) 13:00-17:00

講師：龍谷大学 国際部事務部長 津守 淨子氏

人数：11名（申込11名）

◆第11回SDフォーラム

日時：2013年10月20日（日）10:00～17:30

場所：キャンパスプラザ京都

テーマ：実践知を活かす

	内容	講師	コーディネーター	参加者(申込者)
基調講演 (定員180)	いかに経験から学ぶか ～実践知の獲得プロセス～	北海道大学 松尾 睦先生	コンソ事務局	139 (165)
分科会A (定員30)	自律的人材育成へのヒント ～京都花街、舞妓さんの実践知に学ぶ	京都女子大学 西尾 久美子先生	大島 英穂委員	11 (16)
分科会B (定員30)	参加型の場を創る～ワーク ショップの実践知に学ぶ	同志社大学 中野 民夫先生	久山 喜久雄委員	25 (30)
分科会C (定員30)	マネジメントとコーディネ ーションの日々の現場経験 を通して～秘書の実践知に 学ぶ	大阪府立大学 伊戸 睦 氏	山崎 学委員	20 (27)
分科会D (定員30)	職員がつながる場づくり～ 若手職員を中心とした自主 的勉強会の実践知に学ぶ	京都産業大学 中原 正樹 氏	森 洋委員	24 (29)
分科会E (定員30)	組織の中で今をキラキラと輝 かせるために～タマノイ酢の 実践知に学ぶ	タマノイ酢株式会社 寺澤 恵理 氏	山下 豊彦委員	26 (30)
分科会F (定員30)	個々のアイデアを具現化する 自主性と自覚～未来工業の実 践知に学ぶ～	未来工業株式会社 阪本 誠 氏	村山 孝道委員	23 (30)

(3) 国際連携事業（海外留学派遣プログラム開発支援事業等含む）

【事業の概要および実績】

京都市との協働事業「海外留学派遣プログラム開発支援事業」を今年度より開始した。加盟大学からの優れた海外留学派遣プログラムに対してその開発に支援する事業であるが、今年度は11件応募があり、9件の採択となった。

また、事業充実のために海外連携先との関係強化をはかるとともに、今後の事業展開において必要が生じれば新規の協定の開拓についても検討した。

2013年度はボストン（昭和女子大学）およびメルボルン（ヴィクトリア州8大学予定）の2つの留学プログラムについて、派遣先大学との連絡、加盟大学への広報等のサポートを行った。

また、留学を志す学生を中心に昨年に引き続き、IELTS講座を開講する。今年度はBeginner およびAdvancedの2クラスを開講した。

2013年度は京都での大学職員向け英語研修を試行的に行う。職員に対して研修に参加しやすく工夫した上で一定の需要が見込まれれば、2014年度からのSD研修に組み込み加盟大学の職員の英語力と国際的視野醸成に努め、その次のステップであるShadowingプログラムへの接続を目指す。

英語圏の学生を対象に年度にとらわれない枠組みの紹介を載せた英語版パンフレットを2013年度に作成した。2014年度からの海外向け誘致に役立つ予定である。

留学生の住宅支援事業として、京都地域留学生住宅支援機構加盟大学（9大学）が、制度に賛同する協力事業者と包括契約を締結することにより留学生を支援する「京都地域留学生住宅支援制度」を

運営し、連帯保証人がいない京都地域の留学生が「連帯保証人不要」で住宅確保ができるように支援する。

◆海外留学派遣プログラム開発支援事業（京都市との協働事業）
2013年度採択者一覧

申請プログラム名	大学・団体名	氏名
異なる社会制度下の低炭素都市構築に関する研究-京都と広州を事例に	立命館大学政策科学部	シュウ イ セイ 周 瑋生
立命館大学政策科学部 研究入門フォーラム (中国フォーラム)	立命館大学政策科学部	ヨウ シュウレイ 楊 秋麗
タイ国の郷土学習を学び、京都の伝統文化の継承を考える	京都華頂大学現代家政学部	ホリロシ マサコ 堀越 昌子
世界と響き合う京都の伝統工芸	京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科デザイン学部門	ナカノ ヨシト 中野 仁人
住むひとにも、訪れるひとにも魅力的でやさしい社会を考える（ソウルの若者や家族との交流を通して「韓国心・日本の心」「韓国文化・日本文化」を実感しよう	京都華頂大学現代家政学部	ヨシダ ヒロコ 吉田 博子
異文化理解セミナー (イギリス・イーストアングリア大学)	立命館大学国際関係学部	イシハラ ナオキ 石原 直紀
世界遺産の姉妹都市から、アートを街の活性化に活かすワザを学ぶ	京都造形芸術大学 情報デザイン学科	オオニシ ヒロシ 大西 宏志
産業と観光の融合する都市と青年の意識向上	京都産業大学経営学部	グ スンファン 具 承桓
国際競争力養成プログラム	立命館大学政策科学部	カミクボ マサト 上久保 誠人

◆大学教職員対象英語スキルアップ研修

内容	日程	場所	申込数/定員	参加費（各回）
English Voice Training	2013年7月27日 (土) 9:30-17:00	キャンパスプラザ京都	66名受講（申込75名）	加盟校 5,000円 非加盟 10,000円
Telephoning and Emails	2013年8月24日 (土) 9:30-17:00	キャンパスプラザ京都 5階第1・2共同研究室	65/48名	
Presentation	2013年9月7日 (土) 9.30-17.00	キャンパスプラザ京都 5階第1共同研究室	28/24名	
Everyday Communication	2013年9月28日 (土) 9.30-17.00	キャンパスプラザ京都 5階第1・2共同研究室	63/48名	

◆短期派遣プログラム

プログラム名	科目開設 大学	日程	派遣先	H25派遣数 (H24年度実績)
ボストン・サマーセッション	昭和女子大学	2013年8月19日～9月15日	Showa Boston	1 (7) 名
国際文化学部企画短期留学 (オーストラリア・メルボルン)	龍谷大学	2014年2月15日～3月16日	ヴィクトリア州 所在の6大学	17 (23) 名

			(選択制)	
--	--	--	-------	--

◆メルボルン短期留学オリエンテーション

スケジュール	日程	場所	内容
第1回オリエンテーション	2013年10月12日(土) 10:00-12:00	キャンパスプラザ京都 5F 第1共同研究室	・今後のスケジュール・手続き説明(誓約書・派遣大学希望書・渡航申込み書)・パスポート・海外保険について説明 ・派遣先大学・メルボルンについて (メルボルンより学校担当者が2名来日)
第2回オリエンテーション	2013年11月16日(土) 10:00-12:00	キャンパスプラザ京都 5F第1共同研究室	・学校アプリケーションフォーム記入 ・ホームステイ申込書記入 ・料金支払いスケジュールについて (キャンセル期限の説明含む) 他
第3回オリエンテーション	2013年12月21日(土) 10:00-12:00	キャンパスプラザ京都 5F第1共同研究室	・プレイスメントテスト ・ホームステイ・メルボルンについて
第4回オリエンテーション	2014年2月8日(土) 10:00-12:00	キャンパスプラザ京都 5F第1共同研究室	・ホームステイファミリー決定 ・最終スケジュール(旅のしおり)を配布 ・保険、外貨(任意)、当日出発案内、荷作り準備案内・帰国レポートの案内 他

◆IELTS 講座・試験

内容	日程	場所	備考	参加状況
IELTS 講座	【Beginner】 2013年10月12日(土) 【Advanced】 2013年10月19日(土)	キャンパス プラザ京 都	10/12(土) 【Beginner】 10/19(土) 【Advanced】	【Beginner】 合計 13 名 大学内訳： 京都外大 5名 京都大学 2名 京都橘大学 2名 同志社・立命館・龍谷・京都造形芸術 各1名 【Advanced】 合計 18 名 大学内訳： 京都外大 4名 京都大学 4名 立命館大学 4名 龍谷大学 2名 京都産業大学 3名 大阪医科大学 1名

IELTS 試験	2013年11月30日(土) 【大学コンソーシアム京都での実施は取りやめ】	(外部会場)	キャンパスプラザで講座を受講した加盟学生の申込者2名と少ない為、外部会場(京都外大)での合同受検に手配された。
----------	--	--------	---

◆京都地域留学生住宅支援事業・京都地域留学生住宅保証事業

<実績>

2013年度利用者数

【保証制度 ※2月現在、同志社大学1名のみ】

大学名	利用者数
同志社大学	2
龍谷大学	2
京都大学	1
総計	5

【支援制度 ※2月現在】

大学	利用者数
京都造形芸術大学	154
龍谷大学	82
京都産業大学	46
京都外国語大学	34
京都市立芸術大学	7
京都府立大学	7
佛教大学	4
京都教育大学	8
花園大学	2
総計	344

旧制度(保証制度)は、京都地域留学生住宅保証機構が加盟大学(21大学)の留学生の連帯保証人となるものであったが、既に新規受付を停止し、現在は既契約分の残務となっており、2014年3月をもって事業を終了する。

【委員会等開催実績】

7月5、9日	会計監査(7/5保証、7/9支援)
9月4日	京都地域留学生住宅支援機構委員会 京都地域留学生住宅保証機構委員会・運営委員会
11月5日	京都地域留学生住宅保証機構委員会・運営委員会
1月17日	京都地域留学生住宅保証機構委員会・運営委員会
随時	留学生登録受付(京都地域留学生住宅支援制度)

(4)大学地域連携創造・支援事業(学まちコラボ)

【事業の概要および実績】

本年度で10年目を迎える本事業では、魅力ある地域づくりや地域の課題解決に向けて、大学・学生が地域と協働で取り組む事業を募集し、優れた取り組みに対して助成支援している。これにより、実践的な教育・研究機会の提供および人材育成、地域にとっては大学の知や学生の活力による地域の課

題解決や活性化を図る。昨年度からの変更点は、より多くの団体が募集し活動できるよう、継続的活動も認めることとし、採択予定件数を増加（7～10件→10～15件）した。

《2013年度 採択結果》

大学名	採択件数	応募件数
華頂短期大学	0	1
京都外国語大学	1	1
京都光華女子大学	2	3
京都工芸繊維大学	1	1
京都嵯峨芸術大学	1※	1
京都市立芸術大学	1	1
京都精華大学	3	3
京都産業大学	0	3
京都橘大学	0	1
京都造形芸術大学	1.5※	2.5※
京都府立大学	0	2
京都大学	1	3
同志社大学	0.5※	2
龍谷大学	2	4
佛教大学	2	3
立命館大学	0	1.5※
総計	17	33

※合同申請事業は大学数で按分 ※京都嵯峨芸術大学は奨励賞団体

【委員会実績】

- 7月12日（金）認定式、助成スタート
- 10月30日（水）第3回学まちコラボ事業委員会
- 2月5日（水）第4回学まちコラボ事業委員会
- 3月22日（土）成果報告会

（5）都市政策研究交流事業

【事業の概要および実績】

本年度で9年目を迎える本事業では、都市が抱える課題を見つけ、それを解決するための研究をおこなう学生に発表機会を提供するとともに、教員を含めた研究交流の機会とし、それぞれの成果を発信するとともに自らの研究を深化することを目的として取り組む。また、学生が学生実行委員として交流大会の企画・運営に携わることで、学生の視点からの意見を企画へと反映させるとともに、学生による研究交流・情報発信という本事業の特色を実現していく。昨年度からの変更点は、政策系学部以外の学生・院生にも政策に関する発表や交流の場となることを期待し、「政策系大学・大学院交流大会」から「京都から発信する政策研究交流大会」に名称を変更した。

- 5月30日（木） 学生実行委員会（原則、大会まで毎週実施予定）
- 7月2日（火） 発表者登録開始
- 9月27日（金） 発表者登録締切
- 10月26日（土） 事前交流会
- 11月14日～27日 都市政策研究会委員ヒアリング（第4ステージプランにおける事業見直し）
- 11月15日 発表論文集刊行

12月1日(日) 第9回京都から発信する政策研究交流大会
3月 プロシーディングス刊行

<第9回京都から発信する政策研究交流大会 概要>

(1)日時：2013年12月1日(日) 10:00~19:00

(2)会場：キャンパスプラザ京都

(3)発表者数：62組(口頭発表51、パネル発表11) ※その他、行政展示発表9件

大学名	H25		H24		H23	
	口頭	パネル	口頭	パネル	口頭	パネル
京都大学	2 (2)	0	1(1)	0	2(2)	0
京都府立大学	4	0	1(1)	0	0	1
京都学園大学	1	0	0	0	0	0
京都産業大学	5	1	2	2	7	0
京都女子大学	0	0	0	4	1(1)	1
京都橘大学	3	0	6(1)	0	5(2)	0
京都文教大学	3	0	2	1	0	0
同志社大学	3(1)	1	3(1)	1	3(1)	0
佛教大学	7(1)	1	15	2	11	3
立命館大学	13(3)	7	10	6	19(4)	13
龍谷大学	8(1)	1	4	2(2)	5(1)	2(1)
関西大学	2	0	2	0	1	0
合計	51(8)	11 (0)	46(4)	18 (2)	54(12)	20(1)

※()内は大学院生の数

(4)来場者数：362名(発表者+一般聴講者(学生実行委員、職員、審査員は除く。))

	第9回	第8回	第7回	第6回	第5回	第4回	第3回	第2回	第1回
来場者数	362	317	410	545	524	420	632	149	238

(5)プログラム

9:30-	10:00- 12:10	12:10- 13:10	13:10- 14:40	14:50- 15:50	16:00- 17:40	18:20-
受付	口頭発表 (午前の部)	昼休憩	口頭発表 (午後の部)	パネル発表 審査	学生企画 「創る都、創れば都」 受付 15:30 開始 16:00	表彰式
	パネル発表一般公開					

(6) 研究奨励賞受賞者

賞名	対象	発表題目	所属大学	代表者氏名
京都府知事賞	口頭発表	森林資源の利用から見る地域活性化	京都橘大学	小松 千織
		地方都市におけるまちなか居住の推進策 ～滋賀県長浜市を例にして～	京都大学大学院	松川 周作
京都市長賞	口頭発表	日本のフェアトレード推進の政策課題 ～消費者教育の可能性について～	京都産業大学	田村 太昌
		滋賀県長浜市の地域ブランド化 ～観光政策としての商品開発の促進～	京都大学大学院	片山 晋太郎
大学コンソーシアム 京都理事長賞	パネル発表	龍安寺参道商店街プロジェクト	立命館大学	川上 萌仁香
日本公共政策学会賞	論文重視	TMOによる中心市街地活性化法 ～飯田市を事例に～	立命館大学	久米 由香子
		先進国と新興国の幸福感及び影響要因に関する研究 ～日中両国国民の生活実感調査を通じて～	立命館大学大学院	林 祥偉
優秀賞	口頭発表 & パネル発表	迫る！生活保障の闇 ～セーフティネット改革～	龍谷大学	白井 淳平
		介護ロボット産業の政策的取り組みの課題と今後の方向性 ～経済分析によって得られる新たな視座～	立命館大学	安田 あずさ
		都市のスマート化と電力システム改革の課題の検証 ～持続可能なCEMSの構築と事業化～	立命館大学	松本 薫
		京都MICEの誘致に向けて ～香港の事例より～	立命館大学	武市 明莉
		2010年尖閣諸島沖漁船衝突事件をめぐる政策決定過程 ～揺れる民主党政権と対中外交～	立命館大学	本田 純一
		学生視点から提案する商学連携の展望	龍谷大学	永末 晃規
		『地域まるごと写ガール隊 ～京都丹波の地域力向上に向けて～』	京都府立大学	森 悠
		山科の灯りイベント「陶灯路」の8年を追って	京都橘大学	大田 雅之
		NPO支援政策のあり方を考える ～「新しい公共支援事業」の検証から～	龍谷大学	中原 宏治
社会と個人の時間を考える時間政策によるまちづくり ～今後の日本における個人の時間とコミュニティの再構築～	立命館大学	多田 楓		

< 学生実行委員 10 名 (H24 年度 13 名、H23 年度 17 名) >

京都文教大学 3 名、立命館大学 2 名、龍谷大学 2 名、京都橘大学 1 名、佛教大学 1 名、
京都府立大学 1 名

(6) 都市政策研究助成事業

【事業の概要および実績】

本年度で5年目を迎える本事業では、都市政策分野の若手研究者に対し、助成金を交付するだけでなく都市政策研究会委員による指導を行うことにより、都市政策研究の推進を図るとともに、研究者育成を図る。

- 4月2日(火) 研究助成の公募開始
- 5月24日(金) 研究助成の公募締切
- 6月14日(金) 研究助成の研究者決定(第2回都市政策研究会)
- 7月下旬 初回指導
- 10月中旬 中間指導(3件)
- 1月27日(月) 最終指導(第6回都市政策研究会)

<今年度の研究者>

□申請件数 3 件 (立命館大学 2 件、とよなか都市創造研究所 1 件)、H24 : 20 件、H23 : 11 件

□採択件数 2 件 (H24 : 3 件、H23 : 3 件)

- ・周 霊怡 (立命館大学学院政策科学研究科博士前期課程)
「異なる社会制度下における低炭素都市の構築に関する比較研究 ー京都市と杭州市を事例に」
- ・熊本 伸介 (とよなか都市創造研究所研究員)

(7) 未来の京都創造研究事業（シンクタンク事業）

【事業の概要および実績】

本年度で3年目を迎える京都市との共同事業である「未来の京都創造研究事業」は、当財団が持つ大学や研究者との豊かなネットワークや、都市政策研究会に代表される調査研究機能を最大限活用するとともに、調査・研究事業の市政策への反映や研究者のネットワーク形成の拡大を目指して取り組む。また、事業分野が近接する「都市政策研究推進事業」との連携をさらに進める。

5月10日（金）	指定課題のテーマ決定（第1回事業運営委員会）
5月17日（金）	調査研究の公募開始
6月11日（火）	調査研究の研究者公募締切→6月17日（月）まで延長
6月28日（金）	調査研究の研究者決定（第2回事業運営委員会）
7月～	調査研究スタート（研究者と市担当部署との面談実施）
11月8日（金）	中間報告会（第3回事業運営委員会）
3月19日（水）	成果報告会・交流会

【今年度の採択研究4件】

□調査研究の公募結果15件（H24:27件、H23:11件）及び採択結果（H25:4件、H24:6件、H23:4件）

指定課題①：「京都の伝統、文化や観光など京都ならではの魅力に生物多様性保全が果たす役割と今後必要とされる方策」申請4件（京都大学4）、採択は以下

「市民生活における自然環境共生の知見と身近な生物相の実態評価」

京都大学大学院地球環境堂・教授 柴田昌三

指定課題②：「ソーシャルビジネスを成功させる条件と必要とされる方策 —中小企業支援の視点から—」

申請4件（京都産業大学1、同志社大学1、佛教大学1、龍谷大学1）、採択は以下

「学生参加型ビジネスコンペを利用したソーシャル・ビジネスを育成・普及にかかわる実証研究」 京都産業大学経営学部・准教授 大室悦賀

自由課題：申請7件、採択2件

（京都大学2、立命館大学2、京都外国語大学1、京都工芸繊維大学1、京都造形芸術大学1）

「幹線道路に隣接する細街路の都市計画上の課題 —「歴史細街路」の維持保全に向けて」

京都大学大学院工学研究科建築学専攻・研究員 森重幸子

「和装関連市場における新たなセグメントとその特性の分析

立命館大学経営学部・准教授 吉田満梨

学生交流事業部

(1) 京都学生祭典事業

【事業の概要および実績】

1) 2013年度 第11回京都学生祭典

大学の枠を越えた京都の学生の力を集約し、行政・経済界・大学界・地域社会と連携を図った上で「学生のまち・京都」を社会へ発信し、それに伴う京都全体への波及効果を創出することで京都中の活性化に繋げ、新しい魅力をこのまちに映し出すことを目指している。

主 催：京都学生祭典実行委員会

共 催：京都学生祭典組織委員会

(構成団体) 京都府、京都市、京都商工会議所、一般社団法人京都経済同友会、
公益財団法人 大学コンソーシアム京都

実施日：2013年10月13日(日) 11:00～20:30

開催場所：平安神宮境内、岡崎公園一帯(神宮道、二条通、冷泉通を交通規制)、
岡崎グラウンド、岡崎グラウンド園路、岡崎都市公園、京都府立図書館前、
京都国立近代美術館

主な企画：①Opening ②食企画(“きょう”の食グランプリ、学生食堂“きょう”) ③げんき
っずスタジアム 2013④京炎 そでふれ! 全国おどりコンテスト ⑤そでふれ the
world

⑥京都博覧会 ⑦Grand Finale

企画目的：昨年の10周年で一つの節目を終え、本年度は『織りなす縁と新たな挑戦』というコンセプトのもと、次の10年を見据えた新たなスタートを切った本事業では、これまで築き上げてきた「伝統」を受け継ぎつつ、始まりの年にふさわしい新たな「挑戦」を行っていく。今まで継続して行ってきた各地域主催の行事への参加や打ち水、清掃活動、夜間警備、幼小中学校や福祉施設へのおどり教室を通じた地域交流に加えて、年間交流部を新たに設立し、年間を通して京都学生祭典のファンを増やし、本祭だけでなく祭典に携わる多くの人々とより密度の濃い関係を構築していき、共に1つになって祭りを創りあげる。

<概要>第11回京都学生祭典本祭

日 程 2013年10月13日(日) 11時00分～20時30分

会 場 平安神宮・岡崎公園一帯

主 催 京都学生祭典実行委員会

共 催 京都学生祭典組織委員会

後 援 京都府教育委員会、京都市教育委員会、公益社団法人 京都青年会議所 他 全23団体

協 賛 ローム(株)(特別パートナー協賛)、(株)GSユアサ(KYO-SENSE サポーター協賛) 他

※物品協賛含め全111社

<参加者数> 170,000人

<実行委員数> 230名

<おどり手数> 1,134名

<短期ボランティアスタッフ数> 333名

<実績>今年度本祭は、天候にも恵まれ17万人もの来場者にお越しいただき、大変盛況であった。コンセプトの中に「挑戦」という言葉がうたわれているが、今年度は東北プロジェクトを始動させ、本祭ではこのプロジェクトの活動を振り返ると共に、次年度へ繋がる大きな1歩とし

て次代へ受け継がれる形となった。

第11回実行委員構成人数(最終値)

194名 (内、留学生1名) / 24 大学0 短期大学0 専修学校 (前年度最終値 235 名)

加盟大学・短期大学部 計 190 名

大学・短期大学名	2013 年度	大学・短期大学名	2013 年度
京都大学	3	京都橘大学	2
京都教育大学	4	京都ノートルダム女子大学	1
京都府立大学	2	京都薬科大学	2
大谷大学	2	同志社大学	26
京都医療科学大学	6	同志社女子大学	14
京都学園大学	3	佛教大学	5
京都光華女子大学	3	平安女学院大学	1
京都産業大学	10	立命館大学	21
京都女子大学	69	龍谷大学	14

非加盟大学・短期大学部 計 4 名

関西大学 1 名、関西学院大学 1 名、大阪産業大学 1 名、神戸市外国語大学 1 名

第11回おどり手構成人数 (最終値)

1,134名 / 19 大学 1 短期大学 0 専修学校 (前年度最終値 943 名)

加盟大学・短期大学部 計 1,134 人

大学・短期大学名	2013 年度	大学・短期大学名	2013 年度
京都大学	79	京都橘大学	115
京都府立大学	54	京都ノートルダム女子大学	32
大谷大学	7	京都文教大学	17
京都華頂大学	1	京都文教短期大学	11
京都外国語大学	1	京都薬科大学	89
京都光華女子大学	56	種智院大学	3
京都産業大学	67	同志社大学	106
京都女子大学	196	同志社女子大学	103
京都精華大学	19	花園大学	2
		立命館大学	82
		龍谷大学	94

非加盟大学・短期大学部 計 0 人

第11回短期ボランティアスタッフ構成人数 (最終値)

334名 / 36 大学 4 大学院 0 短期大学 1 専修学校 (前年度最終値 346 名)

加盟大学・短期大学部 計 314 人

大学・短期大学名	2013 年度	大学・短期大学名	2013 年度
京都大学 (大学院 1 含む)	5	京都橘大学	8
京都教育大学 (大学院 1 含む)	14	京都ノートルダム女子大学	1
京都工芸繊維大学	1	京都薬科大学	3
京都府立大学	1	同志社大学	40
京都府立医科大学	1	同志社女子大学	23
大谷大学	1	佛教大学	2
京都華頂大学	1	立命館大学	68
京都医療科学大学	5	龍谷大学	20

京都外国語大学	5	放送大学	1
京都学園大学	2		
京都光華女子大学	5		
京都産業大学	25		
京都女子大学(大学院1含む)	82		

非加盟大学・短期大学部・専門学校 計 20 人

大阪市立大学 1 名、大阪学院大学 3 名、大阪工業大学 1 名、関西大学 1 名、関西外国語大学 2 名、関西学院大学 1 名、京都中央看護保険大学校 1 名、神戸大学 2 名、神戸女学院大学 1 名、神戸国際大学 1 名、摂南大学 1 名、天理医療大学 1 名、兵庫県立大学 1 名、近畿大学大学院 1 名、武庫川女子大学 2 名

◆実績一覧

- 5月2日(木)～6日(月) 東北プロジェクト「繋ぐ～KYOTOHOKU～」
- 5月18日(土) 海星高校生交流企画「現役大学生に聞くキャンパスライフ大研究」
- 5月26日(日) 京都美化運動
- 6月9日(日) 京都の大学「学び」フォーラム 出展企画「(現役大学生に聞く)キャンパスライフ大研究」
- 7月14日(日) 東北プロジェクト第2弾「伝える～KYOTOHOKU～」
- 8月3日(土) エコサマーフェスタ 2013
- 8月25日(日) 中間振り返り会
- 10月13日(日) 第11回京都学生祭典本祭
- 10月20日(日) 事後振り返り会
- 10月22日(火) 祭典感謝祭
- 10月26日(土) 京都の大学「学び」フォーラム 出展企画「(現役大学生に聞く)キャンパスライフ大研究」
- 11月16日(土) 京都美化運動 第2弾
- 1月19日(日) ODSC 研修会
- 3月4日(火) リスクマネジメント研修会
- 3月6日(木) 広報研修会(企画・編集・デザインの基礎知識)
- 3月7日(金) コミュニケーション力向上研修会
- 3月11日(火) ビジネスマナー研修会(基礎編)
- 3月18日(火) ファシリテーション研修会
- 3月21日(金) 企画書研修会
- 3月21日(金) PDCA サイクル研修会
- 3月28日(金) 社会人基礎力研修会(事前測定)

(2) 京都国際学生映画祭事業

【事業の概要および実績】

京都国際学生映画祭事業は、上映機会の少ない学生が制作した自主映画を世界各地より集め、上映する機会を学生が創り出すことを通して、学生が成長する機会を創出し続け、人生を変える程の気づきを与えるものである。

<概要>

- 日 程 2013年11月23日(土)～11月29日(金)
①13:30～15:30 ②16:00～18:00 ③18:30～20:30
※授賞式・グランプリ作品上映:11月29日(金)18:00～
- 会 場 京都シネマ
- 主 催 公益財団法人 大学コンソーシアム京都

- 共催 ー
- 後援 京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都新聞社、朝日新聞京都総局、毎日新聞京都支局、読売新聞京都総局、産経新聞社京都総局、日本経済新聞社京都支社、中日新聞、NHK 京都放送局、KBS 京都、エフエム京都、FM802、近畿経済産業局、国際交流基金
- 連携 日本学生映画祭、春の高校生放送フェスティバル in Kyoto、京まちなか映画祭
THE SAM SPIEGEL FILM & TV SCHOOL (イスラエル映像学校)

□コンペティション部

- ・最終審査員決定 (太田米男氏、直井卓俊氏、マイケルアリアス氏)
- ・入選作品 16 作品 (昨年 19 作品)

	国内	海外	合計
エントリー総数	234	151	385
作品受付総数	212	145	357
短編	112	109	221
長編	100	36	136
2012 年度	235	127	362
2011 年度	171	76	247

※コンソ加盟大応募数 32 本

※20 か国から応募 (アメリカ、イギリス、イスラエル、インド、エストニア、オーストリア、オランダ、カナダ、韓国、キューバ、コロンビア、台湾、チェコ、中国、ドイツ、ニュージーランド、フランス、ブルガリア、ポーランド、香港)

- ・10月15日(火)最終審査会実施：短編GP、長編GP、最終審査員賞(3本)決定
- ・上映素材準備(本祭A~Eプログラム×2回上映)
- ・通訳募集
学生ボランティア1名確保、社会人協力者1名確保、残りは通訳業者に依頼予定
- ・作家招致手配

□企画部

- ・実施企画：「Sam Spiegel Film & TV School Retro Spective (イスラエル学生映画特集)」
「映画と僕らの交差点-高校生作品集- (春の高校生フェスティバル in Kyoto 入選作品)」
ゲスト：大阪成蹊大学 由良泰人准教授
(本映画祭企画検討委員・高校生フェスティバル審査員)
- 「学生アニメ傑作選」
ゲスト：京都精華大学 津堅信之准教授
- 「Worldwide Collection」
「関西ある視点 vol.1 - 映像で遊ぶ・伝える・表現する-」
「関西ある視点 vol.2 - 崩壊する家族の、その時-」
「授賞式、グランプリ作品上映、徹底討論」

<概要>事後振り返り会

- 日程 2013年12月19日(木) 18時00分~21時00分
- 会場 キャンパスプラザ京都 第2共同研究室
- 主催 京都国際学生映画祭実行委員会、公益財団法人 大学コンソーシアム京都
- 共催 無し
- 後援 無し

<実行委員数> 10名

<実績>本祭後に振り返り会を実施。職員がファシリテーションを、学生実行委員に京都国際学生映

画祭での活動が何を意味していたのか、そこから何を学び、次なるステージにどう活かすのか、グループワークなどを通じて振り返る場とした。

<概要>第4回企画検討委員会

日 程 2014年2月14日(木) 18時00分～21時00分

会 場 キャンパスプラザ京都 第1共同研究室

主 催 公益財団法人 大学コンソーシアム京都

<議題>

- ・第16回京都国際学生映画祭 事業報告
- ・第17回京都国際学生映画祭 発足
- ・第17回京都国際学生映画祭 コンペティション募集要項

構成人数(最終値)

□実行委員数 20名/10大学0短期大学0専修学校(前年度最終値20名)

1 加盟大学・短期大学部 計20人

大学・短期大学名	2013年度	大学・短期大学名	2013年度
京都大学	2	京都造形芸術大学	1
京都工芸繊維大学	1	同志社大学	4
京都女子大学	1	佛教大学	1
京都精華大学	3	立命館大学	6
		龍谷大学	1

2 非加盟大学・短期大学部 計1人

関西大学 1名

(3) 京都学生芸術普及事業 (ArtsBar)

【事業の概要および実績】

加盟大学の展覧会の情報を網羅した共同広報を行う。さらには、市民向け展覧会ツアーやワークショップなどのイベントを開催することにより、芸術・文化に対する興味・関心を深め、慣れ親しんでいただくことを上位目標としたい。また京都をアーティストにとって活動しやすい場所とし、最終的に「アーティストを育む土壌」とすることを目指す。活動に参画する学生にとっても様々な分野の学生が大学間の枠を超え組織的なプロジェクト運営・管理・広報、イベント運営に関する能力を身につけられる「実践的な学びの場」とする。

<概 要>こども向けワークショップ「クリエイティブ ～君だけのアートクリスマス～」の開催

日 程 2013年12月14日(土)・15日(日) 11:00～12:30 14:00～15:30

会 場 イオンモール京都 2階吹抜け近く

主 催 公益財団法人 大学コンソーシアム京都

共 催 無し

後 援 無し

<参加者数> 205名(親子)

<実行委員数> 7名

<運営協力> 11名 うち、当日のみ協力: 京都教育大学(1名)、京都女子大学(1名)、
京都造形芸術大学(2名)、佛教大学(4名)

<実績>「格式が高いもの」「価値観がわからないもの」といった芸術のイメージを払拭し、誰もが気軽に芸術を楽しむことができるようになることを目指した。今回のワークショップでは子供を対象に、クリスマスカードとお面作りを行った。なお、当日に関しては、実行委員と加盟大学の学生（芸大生を含む）の協力のもと、運営を行った。

構成人数（2014.1.20 現在）

□実行委員数 3名/3大学（京都造形芸術大学1名、京都橘大学1名、佛教大学1名）（前年度最終値5名）

総務・広報部

(1) 全国大学コンソーシアム協議会事業

【事業の概要および実績】

本事業では、全国の大学コンソーシアム組織(大学連合体・大学連携組織)からなる協議会組織「全国大学コンソーシアム協議会」の事務局として、運営委員会・総会の開催、協議会予算の執行管理等を行っている。2013年度は、情報交換・交流の場として開催している「全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム(主催:協議会、共催:協議会加盟団体)」の開催地が京都(同志社大学)であるため、フォーラムの企画立案に関する業務も兼務した。

<実績>

2013年4月～6月においては、主に協議会運営委員会と会費請求を含む会員管理、全国コンソフォーラム実行委員会の運営、広報リーフレットの作成、申込開始に向けた準備を進めた。7～9月は、参加者確保のための周知活動、参加者受付(期間延長含む)、情報交換会の企画立案等を行った。9/14(土)～15(日)のフォーラム当日は、全国から467名(市民参加、運営スタッフ含む)の参加があった。その後、次年度(岩手開催)の準備を進めている。

4月24日(水)	第1回全国コンソフォーラム実行委員会(役割分担・スケジュール・予算等)
5月8日(水)	京都分科会報告者会議(分科会の内容検討)
5/13(月)～25(土)	基調講演者・シンポジストとの打合せ
5月23日(木)	監事決算監査
5月25日(土)	第1回全国コンソ協議会運営委員会(委員選任・決算・予算・事業計画等)
6月1日(土)	フォーラム広報および申込受付開始
6月7日(金)	第1回全国コンソ協議会書面幹事会(会員退会・規約改正・規程改正)
7月1日(月)	基調講演・シンポジウム無料一般参加受付開始
7月11日(木)	第2回全国コンソフォーラム実行委員会
7月31日(水)	フォーラム申込締切(～9/11まで延長受付)
8月28日(水)	第3回全国コンソフォーラム実行委員会
9/14(土)、15(日)	第10回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム、協議会総会、運営委員会
9月25日(水)	第4回全国コンソフォーラム実行委員会
11月25日(月)	次回開催団体(いわて高等教育コンソーシアム)との打合せ
12月27日(金)	報告集の発行
1月27日(月)	全国大学コンソーシアム協議会運営委員長就任依頼
3月8日(土)	第3回全国コンソ協議会運営委員会(岩手会場視察)
3月8日(土)	第2回全国コンソ協議会書面幹事会(退会・代表幹事選任)

◆第10回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム【内容別参加人数】

内容	参加人数	テーマ	担当コンソーシアム
全体	467名	大学に求められる役割と大学間連携における未来	(市民参加者、運営スタッフ含)
情報交換会	約200名		
第1分科会	43名	大学図書館連携の取組と課題	キャンパス・コンソーシアム函館
第2分科会	102名	就職問題／「企業の本音」、「大学の本音」からあるべきマッチングの形を探る	学術・文化・産業ネットワーク多摩
第3分科会	59名	若年層に広がるコンソーシアム活動	大学コンソーシアム大阪

第4分科会	44名	コンソの可能性を考えるワークショップ	大学コンソーシアム熊本
第5分科会	45名	コンソーシアムにおける人材育成の取組-大学間連携共同教育推進事業と関連させて-	大学コンソーシアム石川
第6分科会	54名	コンソーシアムによるFD・SDの推進	愛知学長懇話会
第7分科会	118名	地域の核となる大学づくり (COC Center of Community)	大学コンソーシアム京都
第8分科会	31名	コンソーシアムは行政との連携をどのように につくるのか	教育ネットワーク中国

◆第10回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム【大学コンソーシアム京都加盟校別参加人数】

大学名	参加人数	大学名	参加人数
京都大学	6	京都聖母女学院短期大学	0
京都教育大学	1	京都造形芸術大学	0
京都工芸繊維大学	2	京都橘大学	3
京都市立芸術大学	0	京都ノートルダム女子大学	2
京都府立大学	5	京都美術工芸大学	0
京都府立医科大学	0	京都文教大学	2
池坊短期大学	1	京都文教短期大学	0
大谷大学	2	京都薬科大学	1
大谷大学短期大学部	0	種智院大学	0
京都医療科学大学	0	成安造形大学	0
京都外国語大学	1	成美大学	0
京都外国語短期大学	0	成美大学短期大学部	0
京都学園大学	0	同志社大学	13
京都華頂大学	1	同志社女子大学	0
華頂短期大学	1	花園大学	0
京都経済短期大学	1	佛教大学	8
京都光華女子大学	1	平安女学院大学	0
京都光華女子大学短期大学部	0	平安女学院大学短期大学部	0
京都嵯峨芸術大学	0	明治国際医療大学	1
京都嵯峨芸術大学短期大学部	0	立命館大学	8
京都産業大学	6	龍谷大学	12
京都女子大学	1	龍谷大学短期大学部	0
京都女子大学短期大学部	0	大阪成蹊大学芸術学部	3
京都精華大学	1	大阪医科大学	0
京都西山短期大学	0	放送大学・京都学習センター	0
加盟校参加者 総合計 83名			

(2) 総務業務(庶務・法人運営)

【事業の概要および実績】

□2013年度末 財団定款・諸規程一部改正、新規規程制定手続き（～3月末）

11月26日 正副運営委員長打合せ（新規制定規程等相談）

12月18日 運営委員会 規程制定、定款・規程改正案 一括上程

1月25日 理事会 規程制定、定款・規程改正案一括上程（規程制定完了）

3月29日 評議員会 定款改正案上程

□賛助会員退会手続(6/29)理事会承認： 京都中央信用金庫・(株) 栄文堂

□維持会員入会手続(1/25)理事会承認： 京都看護大学（4月1日付加盟）

□特別会員入会手続(3/29)理事会承認： 京都情報大学院大学（4月1日付加盟）

□特別会員退会手続(3/29)理事会承認： 大阪成蹊大学芸術学部（3月31日付脱退）

◆2013年度5月1日付加盟大学学生数◆

	大学名	代表役職	代表者名	総学生数	請求金額	備考
1	京都大学	総長	松本 紘	13,421	6,710,500	学生数 13421名 × 500円)
2	京都教育大学	学長	位藤 紀美子	1,364	1,364,000	学生数 1364名 × 1,000円)
3	京都工芸繊維大学	学長	古山 正雄	2,905	400,000	固定額請求
4	京都市立芸術大学	学長	建島 哲	823	823,000	学生数 823名 × 1,000円)
5	京都府立大学	学長	渡辺 信一郎	1,838	1,838,000	学生数 1838名 × 1,000円)
6	京都府立医科大学	学長	吉川 敏一	991	991,000	学生数 991名 × 1,000円)
7	池坊短期大学	学長	松井 邦子	246	246,000	学生数 246名 × 1,000円)
8	大谷大学・大谷大学短期大学部	学長	草野 顕之	3,435	3,435,000	学生数 3435名 × 1,000円)
9	京都医療科学大学	学長	遠藤 啓吾	396	396,000	学生数 396名 × 1,000円)
10	京都外国語大学・京都外国語短期大学	学長	松田 武	4,768	4,768,000	学生数 4768名 × 1,000円)
11	京都学園大学	学長	内山 隆夫	2,700	2,700,000	学生数 2700名 × 1,000円)
12	京都華頂大学・華頂短期大学	学長	中野 正明	927	927,000	学生数 927名 × 1,000円)
13	京都経済短期大学	学長	岩田 年浩	246	246,000	学生数 246名 × 1,000円)
14	京都光華女子大学・京都光華女子大学短期大学部	学長	一郷 正道	1,811	1,811,000	学生数 1811名 × 1,000円)
15	京都嵯峨芸術大学・京都嵯峨芸術大学短期大学部	学長	森本 武	856	856,000	学生数 856名 × 1,000円)
16	京都産業大学	学長	藤岡 一郎	13,045	13,045,000	学生数 13045名 × 1,000円)
17	京都女子大学・京都女子大学短期大学部	学長	川本 重雄	6,139	6,139,000	学生数 6139名 × 1,000円)
18	京都精華大学	学長	坪内 成晃	3,564	3,564,000	学生数 3564名 × 1,000円)
19	京都西山短期大学	学長	中西 随功	173	173,000	学生数 173名 × 1,000円)
20	京都聖母学院短期大学	学長	沼野 元義	519	519,000	学生数 519名 × 1,000円)
21	京都造形芸術大学	学長	尾池 和夫	3,193	3,193,000	学生数 3193名 × 1,000円)
22	京都橘大学	学長	細川 涼一	3,642	3,642,000	学生数 3642名 × 1,000円)
23	京都ノートルダム女子大学	学長	芹田 健太郎	1,336	1,336,000	学生数 1336名 × 1,000円)
24	京都美術工芸大学	学長	宮崎 昭	97	97,000	学生数 97名 × 1,000円)
25	京都文教大学	学長	鐘 幹八郎	1,870	1,870,000	学生数 1870名 × 1,000円)
26	京都文教短期大学	学長	安本 義正	918	918,000	学生数 918名 × 1,000円)
27	京都薬科大学	学長	乾 賢一	2,263	2,263,000	学生数 2263名 × 1,000円)
28	種智院大学	学長	村主 康瑞	152	152,000	学生数 152名 × 1,000円)
29	成安造形大学	学長	牛尾 郁夫	814	814,000	学生数 814名 × 1,000円)
30	成美大学・成美大学短期大学部	学長	戸祭 達郎	234	234,000	学生数 234名 × 1,000円)
31	同志社大学	学長	村田 晃嗣	26,522	26,522,000	学生数 26522名 × 1,000円)
32	同志社女子大学	学長	加賀 裕郎	6,466	6,466,000	学生数 6466名 × 1,000円)
33	花園大学	学長	細川 景一	2,046	2,046,000	学生数 2046名 × 1,000円)
34	佛教大学	学長	山極 伸之	6,616	6,616,000	学生数 6616名 × 1,000円)
35	平安女学院大学・平安女学院大学短期大学部	学長	山岡 景一郎	568	568,000	学生数 568名 × 1,000円)
36	明治国際医療大学	学長	岩井 直躬	619	619,000	学生数 619名 × 1,000円)
37	立命館大学	学長	川口 清史	32,280	32,280,000	学生数 32280名 × 1,000円)
38	龍谷大学・龍谷大学短期大学部	学長	赤松 徹真	18,551	18,551,000	学生数 18551名 × 1,000円)
39	大阪成蹊大学芸術学部	学長	武蔵野 實	533	533,000	学生数 533名 × 1,000円 ※芸術学部のみ
40	大阪医科大学	学長	竹中 洋	1021 (内:医学部医学科667)	667,000	学生数 667名 × 1,000円 ※医学部医学科のみ
41	放送大学・京都学習センター	所長	藤原 勝紀	2,153	1,500,000	固定額請求
42	京都市	市長	門川 大作	-	500,000	固定額請求
43	京都府	知事	山田 啓二	-	550,000	入会金50,000円+会費500,000円
	合計			172,061	162,888,500	

*夜間、通信の収容定員、大学院生の定員数を除いています。

(3) 財務・経理業務

【業務の概要および実績】

本業務は、財団の予算執行管理を統括するもので、2013年度の主要な業務進捗状況は下記の通り。
<実績>

2013年4月～6月期においては、主に年度末および年度初めの経理処理および2012年度決算書の作成にあたった。また、税理士による点検・監事監査・役員ブリーフィング等を行った。

7～8月に、業務マニュアルの整理を行った。積立金関連規程の新規制定(1/25)。

6月4日(火)	京都市決算報告
6月5日(水)	監事決算監査
6月13日(木)	理事会(書面)での決議
6月29日(土)	評議員会での決議、内閣府報告
7月2日(火)	予算執行管理について事務局会議で周知
7月19日(金)	事業部会議にて支出伝票等のマニュアル作成。仕事のすすめ方BOOKに反映
9月26日(木)	総括会議にて積立金資金計画について周知
11月～1月	2013年度補正予算策定
12月11日(水)	労働局調査対応
12月～3月	2014年度予算策定

(4) 調査・企画業務

【業務の概要および実績】

本事業は、加盟大学および財団事業の実績集約やニーズ把握、調査・分析を通じて、その結果や実績データを提供し、財団運営や事業展開に資することを目的としている。2013年度は、理事会諮問機関である「大学政策委員会」事務局として、財団第3ステージプラン(2009～2013年度)の総括と第4ステージプラン(2014～2018年度)の策定を行った。並行して、京都市と共同にて策定する「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画(2014～2018年度)」の計画内容との整合性担保や両計画・事業間の連携・調整等も課題として事業を実施した。

<実績>

4月9日(火)	大学政策委員会 大学ヒアリング実施(京都学園大学)
4月13日(土)	第4回大学政策委員会幹事会(第3ステージプラン総括文書検討)
4月24日(水)	第4回大学政策委員会(第3ステージプラン総括文書検討)
5月15日(水)～18日(土)	財団事業部次長ヒアリング
5月22日(水)	第5回大学政策委員会幹事会(第3ステージプラン総括文書・2013年度大学政策委員会ワーキンググループ検討課題、同メンバー編成検討)
5月30日(木)	経済団体ヒアリング(京都経済同友会、京都商工会議所)
5月31日(金)	経済団体ヒアリング(京都工業会)
6月6日(木)	大学政策委員会幹事会 委員長ヒアリング
6月初旬～下旬	2013年度大学政策委員会委員、ワーキンググループ(WG)メンバー編成作業
6月12日(水)	第6回大学政策委員会幹事会(第3ステージプラン総括文書)
6月29日(土)	理事会(総括答申承認、2013年度大学政策委員会委員・WG構成確定)
7月5日(金)	2013年度第1回大学のまち京都・学生のまち京都推進会議
7月6日(土)	2013年度「大学のまち京都・学生のまち京都推進会議」第1回学生の活動専門部会
7月18日(木)～31日(水)	大学のまち京都・学生のまち京都次期推進計画策定専門部会(全体部会1回、テーマ別部会全6回)

	大学政策委員会 第1回WG (第1~第6WG)
7月17日(水)~8月6日(火)	第7回大学政策委員会幹事会(大学政策委員会 WGの検討状況について)
9月6日(金)	大学政策委員会第2回WG(第1~第6WG)
9月18日(水)~10月8日(火)	2013年度「大学のまち京都・学生のまち京都」第2回計画策定専門部会
10月17日(木)	2013年度「大学のまち京都・学生のまち京都推進会議」第2回学生の活動専門部会
10月20日(土)	第8回大学政策委員会幹事会(第4ステージプランに向けた検討課題について)
	第4回大学政策委員会(第4ステージプランに向けた検討課題について)
	2013年度第2回「大学のまち京都・学生のまち京都推進会議」
10月30日(水)	大学政策委員会
11月13日(水)	2013年度第2回「大学のまち京都・学生のまち京都推進会議」
11月26日(火)	
11月13日(水)	
11月26日(火)	
12月11日(水)~13日(金)	加盟大学・短期大学 第4ステージプラン意見交換会 参加:23校 【11日(水)】京都市立芸術大学、大谷大学・大谷大学短期大学部、京都嵯峨芸術大学・京都嵯峨芸術大学短期大学部、京都ノートルダム女子大学、種智院大学、明治国際医療大学、【12日(木)】京都学園大学、成安造形大学、京都女子大学・京都女子大学短期大学部、佛教大学、京都光華女子大学・京都光華女子大学短期大学部、立命館大学、京都精華大学、龍谷大学・龍谷大学短期大学部、【13日(金)】京都外国語大学・京都外国語短期大学、京都華頂大学・華頂短期大学、京都経済短期大学、京都産業大学、京都造形芸術大学、京都橘大学、京都薬科大学、成美大学・成美大学短期大学部、同志社大学
1月14日~24日	加盟大学向け個別訪問 第4ステージプラン答申説明 京都医療科学大学、京都文教短期大学、放送大学・京都学習センター、京都工芸繊維大学、池坊短期大学、京都教育大学、京都聖母女学院短期大学、大阪医科大学、京都西山短期大学、同志社女子大学、京都府立大学、京都府立医科大学、京都文教大学、花園大学、京都大学、平安女学院大学
1月25日(土)	理事会(答申策定状況の進捗報告)
1月10日~2月10日	大学のまち京都・学生の街京都次期推進計画パブリックコメント受付 財団第4ステージプラン答申に対する意見メール受付
2月12日(水)	2013年度第3回「大学のまち京都・学生のまち京都推進会議」
2月20日(木)	第9回大学政策委員会幹事会(加盟校の意見集約結果について、第4ステージプラン答申(素案)について)
	2013年度「大学のまち京都・学生のまち京都」第3回計画策定専門部会
2月25日(火)	2013年度第3回大学のまち京都・学生のまち京都推進会議
2月26日(水)	第5回大学政策委員会(加盟校の意見集約結果について、第4ステージプラン答申(素案)について)
3月16日(日)	2013年度「大学のまち京都・学生のまち京都推進会議」第3回学生の活動専門部会
3月29日(土)	理事会(答申確定)

(5) 広報業務

【事業の概要および実績】

財団の実施する各種事業の広報と加盟大学間の情報共有促進を目的として、冊子、Web等の媒体を用いて企画内容や開催報告等を、速やかにかつ魅力的に周知することを目指している。また、調査目

的等による財団訪問者に対して、財団の取り組みを適切に伝えることにも取り組んだ。

<実績>

- 4月 財団 Information パンフレット関係機関送付
- 5月 財団訪問者等 解説用資料コンテンツアップデート
- 随時 財団 Web ページ、財団フェイスブックページ更新
- 10月1日(火) 「第3ステージの到達点と第4ステージに向けての検討課題」 答申HP公開
- 10月31日(木) 財団会報第45号発行・発送
- 【2013年度 財団への外部訪問者受入れ実績】** (※総務・広報部にて公式受付分のみ)
- 5月15日(水) 山口市総合政策部企画経営課
- 5月21日(火) 静岡県庁企画課
- 7月10日(水) 姫路市市長公室
- 7月18日(木) 文部科学省初等中等教育局 児童生徒課
- 9月13日(金) 熊本大学 一般社団法人 大学コンソーシアム熊本
- 10月24日(木) 北海道大学
- 11月2日(土) 岡山大学 地域総合研究センター
- 11月12日(火) 岡山大学 ダイバーシティ推進本部男女共同参画室
- 12月17日(火) 横浜市 政策局 大学担当/大学調整課
- 2月13日(木) 東海地域研究学園都市構想推進連絡会議事務局
- 2月13日(木) 高等教育コンソーシアム宮崎 (宮崎県総合政策部 フードビジネス推進課)
- 3月5日(水) 放送大学 東京多摩学習センター

(6) 共同広報事業

【事業の概要および実績】

「大学のまち・学生のまち京都」の魅力为全国の高校生・保護者に伝え、京都の大学への進学希望者の増大を図るとともに受験者数の確保・入学者数の拡大を意識した広報を展開していくことが求められている。「京都全体が一つのキャンパス」という考えのもと加盟大学・短期大学へ参加を呼びかけ進学相談会に参加する「京都ワンキャンパス」や、大学コンソーシアム京都単独で進学相談会にブース参加する「京都の大学情報コーナー」で情報を発信するとともに、各会場周辺地域の高校・予備校を訪問することでさらなる広報展開を図っている。2014年度以降は、第4ステージプランで検討された方向性に基づき、これまでの事業の効果検証を踏まえて、「共同入試広報」の抜本的な見直しを図ることを予定している。

◆京都ワンキャンパス

日程	都市	出張者数	2013ブース面談者数 /全体来場者数	2012ブース面談者数 /全体来場者数	2011ブース面談者数 /全体来場者数
7月6日(土)	東京	職員3、学生1	43/5561	58/5591	114/6277
7月14日(日)	大阪	職員2、学生2	119/4838	67/2861	95/1822
7月15日(月)	名古屋	職員2、学生2	63/2377	84/2618	122/2204

ライオン企画株式会社主催の「大学フェア2013」東京会場・大阪会場・名古屋会場に加盟大学・短期大学と共に「京都の大学ワンキャンパス」として参加。

◆京都の大学情報コーナー

日程	都市	出張者数	2013ブース面談者数 /全体来場者数	2012ブース面談者数 /全体来場者数	2011ブース面談者数 /全体来場者数
5月9日(木)	金沢	職員2、学生1	27/1019	35/905	参加なし
5月26日(日)	静岡	職員2、学生1	124/3807	112/3129	125/3866
6月19日(水)	高松	職員1、学生1	22/662	23/385	参加なし
7月14日(日)	広島	職員1、学生1	68/1794	65/1806	61/1934
7月21日(日)	福岡	職員3、学生1	38/1713	84/1742	98/1728

金沢会場・高松会場は株式会社日本ドリコム主催の「進学ガイダンス」に単独ブース参加。
静岡会場・広島会場・福岡会場はライオン企画株式会社主催の「大学フェア2013」に単独ブース参加。

→2014年度については、事業実施を見送る旨を京都の大学「学び」フォーラム企画検討委員会（書面会議）に提案。委員の了承済み。

→10月31日付けで2014年度の京都ワンキャンパス事業の見送りを加盟大学・短期大学に文書で通知済み。

◆広報物作成

「京都の学びスタイル2013」

近畿圏内を中心に全国各地の高校に約24,500部、加盟大学にも約3,400部を無償で配付する他、前述の進学相談会でもブース面談者に配付した。

(7) 研修業務

【事業の概要および実績】

財団職員の力量向上を目指した研究企画の策定・実施を目的とする。2013年度は、従来単発的におこなってきた研修事業を、可能な限り体系化し、財団職員が参加時に研修の目的や到達目標を予め理解して計画的に参加できるよう工夫を図る。職員として必要なスキルの涵養と併せて高等教育情勢や学生実態等、大学関連機関の職員として必要な知識を得る機会も併せて提供する。研修参加者アンケートのフィードバックは、都度丁寧に行い改善に向けた意見やニーズを随時拾った。参加者アンケートから見た満足度は概ね高いものであったが、全員参加型の事務局合同研修(4/21・22、12/14・15)は、参加者のニーズや経験年数等にばらつきがあることから相対的に低い満足度となっている。これらについて次年度の改善課題としたい。

<実績>

4月2日(火)、5月7日(火)、6月1日(土)	新任者オリエンテーション・ガイダンス
4月16日(火)	行動計画策定ワークショップ(参加:12名)
4月21日、22日	春期事務局研修・オリエンテーション(含む防災訓練)(参加43名)
5月23日(火)	ハラスメント相談研修(参加16名)
6月4日(火)	6月新規出向者オリエンテーション・ガイダンス
6月18日(火)	2013年度財団職員研修計画(案)提案(臨時総括会議)
7月2日(火)	同上(事務局会議)
7月～	財団職員面談(前期)開始(8月初旬まで)
7月26日(金)	ハラスメント対応相談研修2(フォローアップ)(参加20名)
8月27日(火)	人事・労務に関する講習(参加12名)
9月3日(火)	京都市民の意識やニーズの把握、修学旅行の大学進学に与える影響について(参加15名)
10月1日(火)	SPOD-四国地区大学教職員能力開発ネットワーク研修共有(参加10名)
10月1日(火)、11日(金)、15日(火)	統計学入門1~3(参加13名)
11月1日(金)	IR入門研修(参加21名) IR入門研修(参加21名)
12月3日(火)	コミュニケーション力向上研修1(参加16名)
12月14日(土)	冬期事務局研修(1日目)(参加41名) 高等教育情勢の理解 財団事業への参加を通じた学生の成長~学生祭典の事例
12月15日(日)	冬期事務局研修(2日目)(参加41名)

第4 ステージプラン事業計画 意見交換会

- 1月7日(火) リスクマネジメント研修(参加12名)
 2月4日(火) コミュニケーション力向上研修2(参加17名)
 3月4日(火) コミュニケーション力向上研修3(参加15名)
 3月13日(木)、14日(金) 財団出向満了者成果報告会(①～②) (参加合計 40名)

(参考) 2013年度財団内職員研修のアンケート結果(肯定的評価の状況)

日程	区分	研修名	対象数	受講者	回答数	内容	役立つか	
4月21日	日	階層	新財団職員導入研修1(大学コンソーシアム京都の役割)	45	43 (95.6%)	32 (74.4%)	22 (68.8%)	No Data
4月22日	月	階層	新財団職員導入研修1(第3ステージ総括と第4ステージプラン策定に向けて)	45	43 (95.6%)	32 (74.4%)	21 (65.6%)	No Data
4月22日	月	階層	新財団職員導入研修2(「仕事の進め方BOOK」に基づくオリエンテーション)	45	43 (95.6%)	32 (74.4%)	11 (34.4%)	No Data
4月22日	月	スキル	アクションプラン策定研修1	45	43 (95.6%)	32 (74.4%)	21 (65.6%)	No Data
5月23日	木	スキル	カウンセリングマインド・ハラスメント対応	41	16 (39.0%)	14 (87.5%)	13 (92.9%)	12 (85.7%)
7月26日	金	スキル	ハラスメント相談対応フォローアップ研修	42	20 (47.6%)	20 (100%)	19 (95.0%)	17 (85.0%)
8月27日	火	階層別	人事・労務に関する講習	42	12 (28.6%)	8 (66.7%)	8 (100%)	8 (100%)
9月3日	火	階層別	京都市調査・修学旅行調査研修	42	15 (35.7%)	9 (60.0%)	8 (88.9%)	7 (77.8%)
10月1日	火	階層別	SPOD-四国地区大学教職員能力開発ネットワーク研修報告会1	42	10 (23.8%)	No Data	No Data	No Data

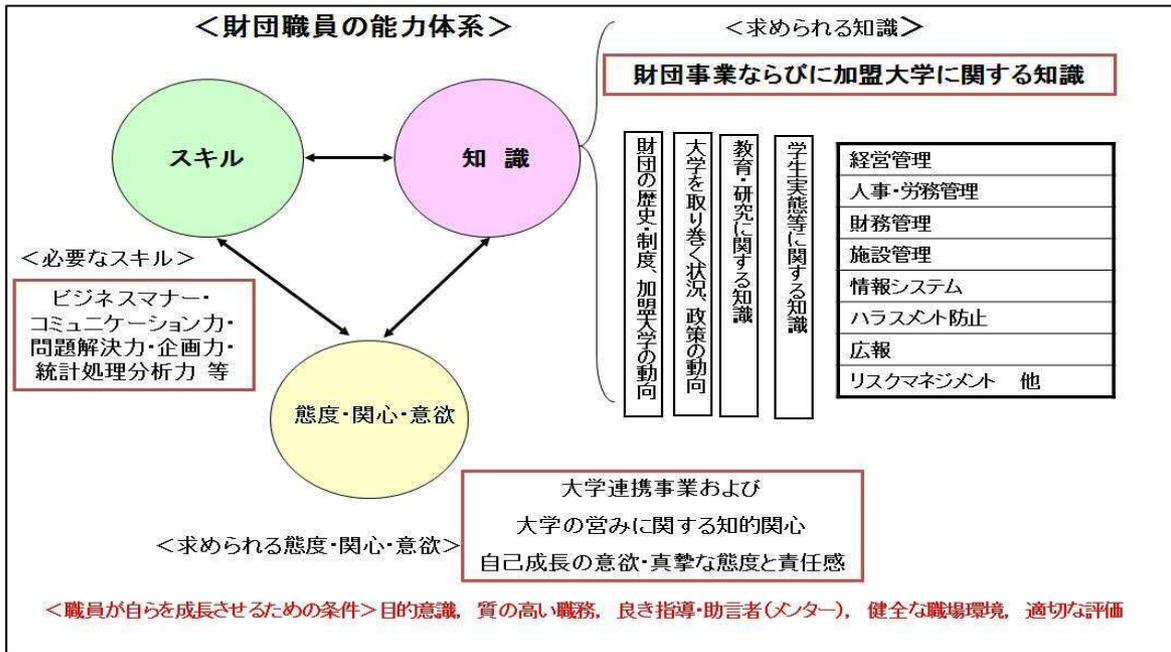
日程	区分	研修名	職員数	受講者	回答数	内容	時間	難易度	運営
10月1日	火	スキル	統計学入門1	10 (23.8%)	8 (80.0%)	8 (100%)	6 (75.0%)	6 (75.0%)	8 (100%)
10月11日	金	スキル	統計学入門2	10 (23.8%)	8 (80.0%)	8 (100%)	6 (75.0%)	6 (75.0%)	7 (87.5%)
10月15日	火	スキル	統計学入門3	10 (23.8%)	7 (70.0%)	7 (100%)	4 (57.1%)	4 (57.1%)	5 (71.4%)
11月1日	金	スキル	IR入門講座	21 (50.0%)	17 (81.0%)	No Data	No Data	No Data	No Data
12月3日	火	スキル	コミュニケーション力向上研修1	16 (38.1%)	13 (81.2%)	13 (100%)	13 (100%)	13 (100%)	13 (100%)
12月14日	土	階層	高等教育情勢への理解～学生のINT・PBL実践～	41 (97.6%)	25 (61.0%)	22 (88.0%)	18 (72.0%)	18 (72.0%)	11 (44.0%)
12月14日	土	階層	財団事業への参加を通じた学生の成長～京都学生祭典の事例～	41 (97.6%)	25 (61.0%)	19 (76.0%)	15 (60.0%)	17 (68.0%)	11 (44.0%)
12月15日	日	スキル	アクションプラン策定研修2	41 (97.6%)	25 (61.0%)	22 (88.0%)	13 (52.0%)	17 (68.0%)	17 (68.0%)
1月7日	火	スキル	リスクマネジメント研修	12 (27.9%)	12 (100%)	12 (100%)	8 (66.7%)	8 (100%)	11 (91.7%)
2月4日	火	スキル	コミュニケーション力向上研修2	17 (39.5%)	13 (76.5%)	13 (100%)	13 (100%)	12 (92.3%)	13 (100%)
3月4日	火	スキル	コミュニケーション力向上研修3	13 (30.2%)	12 (92.3%)	10 (83.3%)	11 (91.7%)	10 (83.3%)	11 (91.7%)
3月13日	木	階層	仕事の経験をいかした職員の成長1(出向満了者成果報告会)	21 (48.8%)	12 (57.1%)	11 (91.7%)	5 (41.7%)	7 (58.3%)	6 (50%)
3月14日	金	階層	仕事の経験をいかした職員の成長2(出向満了者成果報告会)	19 (44.2%)	19 (100%)	9 (47.3%)	6 (31.6%)	7 (36.8%)	5 (26.3%)

※統計学入門(10月1日(火)開催)より、アンケート様式を変更したため、項目が異なる。

※パーセントの数値については、小数第2以下を切り上げている。

※受講者%(対象職員数を分母とした受講者数割合)、回答数%(受講者を分母とした回答者数割合)、その他%(回答数を分母とした肯定的回答数割合)

財団におけるSD (Staff Development) の体系 (概念図)



※2013年6月29日FD執行部塾(筑波大学古武博通教授講演資料)を参考に作成(事務局長 徳永寿老)

各種委員会等の開催について

I. 教育事業部所管会議 開催報告について

(1) 単位互換事業

- ・単位互換事業ワーキンググループ
 - 5月28日(火) 第1回(主要議題:今年度の単位互換制度の出願状況、今後の事業展開 等)
 - 7月2日(火) 第2回(主要議題:事務担当者会議資料確認・今後の事業展開 等)
 - 10月24日(火) 第3回(主要議題:次年度開講方針等)
- ・単位互換・京カレッジに関する事務担当者会議
 - 7月12日(金) 第1回(主要議題:単位互換・京カレ共通・INT単位認定に向けて 他)
 - 11月15日(金) 第2回(主要議題:単位互換・京カレ共通・各事業の報告、連絡事項 他)各単位互換・京カレッジ提供大学担当者がメンバーとして出席
- ・eラーニングコンテンツ調整会議
 - 2月18日(火)【書面】 第1回(主要議題:無料コンテンツ運用方針、専門委員会への再編)

(2) 生涯学習(京カレッジ)事業

- ・京カレッジ企画検討委員会
 - 7月9日(火) 第1回(主要議題:委員長の選出、今年度出願状況、次年度開講準備、他)
 - 11月15日(金) 第2回(主要議題:今年度後期出願状況、次年度開講準備 他)
- ・京都学企画検討委員会
 - 6月27日(木) 第1回(主要議題:今年度の委員会スケジュールについて 他)
 - 8月8日(木) 第2回(主要議題:次年度全体テーマについて 他)
 - 10月3日(木) 第3回(主要議題:次年度全体テーマについて)
 - 12月12日(木) 第4回(主要議題:今年度実施報告、次年度開講概要 他)

II. 高大連携事業部所管会議 開催報告について

(1) 京都高大連携研究協議会事業

以下の①～④の会議は、大学コンソーシアム京都に設置された専門委員会とは異なり、京都高大連携研究協議会に設置された委員会である。

- ・京都高大連携研究協議会 役員会
 - 6月28日(金) 第1回 主要議題:2012年度事業報告ならびに2013年度事業計画について(書面会議にて実施)
 - 3月12日(水) 第2回 主要議題:2013年度事業報告ならびに2014年度事業計画について
- ・京都高大連携研究協議会 運営委員会
 - 6月21日(金) 第1回(主要議題:第11回高大連携教育フォーラム開催(案)について他) ※高大情報発信交流検討部会(進路部会)と同時開催。
 - 8月30日(金) 第2回(主要議題:第11回高大連携教育フォーラム企画内容(案)について他) ※高大連携教育プログラム検討部会(教務部会)と同時開催。

- 11月27日(水) 第3回(主要議題:第11回高大連携教育フォーラム運営体制について他)
 3月12日(水) 第4回(主要議題:2013年度事業報告ならびに2014年度事業計画について)
 ※高大連携教育プログラム検討部会(教務部会)・高大情報発信交流検討部会(進路部会)と同時開催。
- ・京都高大連携研究協議会 高大連携教育プログラム検討部会(教務部会)
 6月21日(金) 第1回(主要議題:第11回高大連携教育フォーラム開催(案)について他)
 8月30日(金) 第2回(主要議題:第11回高大連携教育フォーラム企画内容(案)について他) ※運営委員会と同時開催。
 1月24日(金) 第3回(主要議題:2014年度実践研究共同教育プログラムについて他)
 3月12日(水) 第4回(主要議題:2013年度事業報告ならびに2014年度事業計画について)
 ※運営委員会・高大情報発信交流検討部会(進路部会)と同時開催。
- ・京都高大連携研究協議会 高大情報発信交流検討部会(進路部会)
 6月21日(金) 第1回(主要議題:2013年度「Kyotoカタリ場企画」の申請・採択について他) ※運営委員会と同時開催。
 10月4日(金) 第2回(主要議題:京都の大学「学び」フォーラム2013京都会場について他)
 11月22日(金) 第3回(主要議題:京都の大学「学び」フォーラム2013京都会場実施報告について他)
 3月12日(水) 第4回(主要議題:2013年度事業報告ならびに2014年度事業計画について)
 ※運営委員会・高大連携教育プログラム検討部会(教務部会)と同時開催。
- ・高大連携推進室 室員会議
 5月21日(火) 第1回(主要議題:高大連携教育フォーラム企画内容について他)
 7月11日(木) 第2回(主要議題:2013年度キャリア教育企画について他)
 11月21日(木) 第3回(主要議題:高大連携教育フォーラム運営体制について他)
 1月16日(木) 第4回(主要議題:高大連携教育フォーラム今年度総括について他)
 3月21日(金) 第5回(主要議題:2014年度事業計画内容・推進体制について他)

(2) 高大接続事業

- ・京都の大学「学び」フォーラム企画検討委員会
 5月31日(金) 第1回(主要議題:京都の大学「学び」フォーラム2013の企画概要について他)
 10月18日(金) 第2回(書面にて実施)(主要議題:2014年度共同広報事業(京都ワンキャンパス)について)
 12月20日(金) 第3回(主要議題:2013年度事業報告ならびに2014年度事業計画について)

(3) インターンシップ事業

- ・インターンシップ研究会
 6月21日(金) 第1回(主要議題:2014年度カリキュラムについて他)
 11月15日(金) 第2回(主要議題:2014年度カリキュラムについて他)
 12月20日(金) 第3回(主要議題:本年度の総括について他)
 2月28日(金) 第4回(主要議題:次年度の研究会について他)

- ・インターンシップ・コーディネーター(ビジネス・パブリック)会議

- 4月17日(水) 第1回(主要議題:2013年度インターンシップ・プログラム事業推進体制について他)
 - 6月15日(土) 第2回(主要議題:事前学習の進め方について他)
 - 6月29日(土) 第3回(主要議題:本日の事前学習実施に関わる連絡事項について他)
 - 9月28日(土) 第4回(主要議題:事後学習の授業進行および事後学習以降のスケジュールについて他)
 - 12月5日(木) 第5回(主要議題:2013年度プログラム実施報告について他)
- ・インターンシップ・コーディネーター(プログレス)会議
 - 6月20日(木) 第1回(主要議題:2013年度インターンシップ・プログラム出願状況等の報告他)
 - 7月11日(木) 第2回(主要議題:事前学習の進め方について他)
 - 10月3日(木) 第3回(主要議題:夏期休暇中の進捗状況について他)
 - 10月31日(木) 第4回(主要議題:成果報告会・修了式(11/16)について他)
 - 1月16日(木) 第5回(主要議題:プログレスコースの運営振り返り)

III. 高等教育研究推進事業部所管会議 開催報告について

(1) FD 関係事業

・FD 研修企画ワーキング

- 5月7日(火) 第1回(主要議題:委員長選出、各種研修企画について他)
- 7月2日(火) 第2回(主要議題:新任教員合同研修、京都FDer塾)
- 9月3日(火) 第3回(主要議題:教員合同研修、京都FDer塾)
- 11月5日(火) 第4回(主要議題:京都FDer塾)
- 1月14日(火) 第5回(主要議題:京都FDer塾、新任教員研修)
- 3月4日(火) 第6回(主要議題:2014年度事業計画、新任教員研修)

・FD 研究ワーキング

- 5月29日(水) 第1回(主要議題:委員長選出、FDハンドブック制作について他)
- 6月27日(木) 第2回(主要議題:FDハンドブック Vol.3、非常勤講師のFD研修について)
- 7月31日(水) 第3回(主要議題:FDハンドブック Vol.3、非常勤講師のFD研修について)
- 9月17日(水) 第4回(主要議題:FDハンドブック Vol.3、非常勤講師のFD研修について)
- 10月30日(水) 第5回(主要議題:FDハンドブック Vol.3、非常勤講師のFD研修について)
- 12月10日(火) 第6回(主要議題:FDハンドブック Vol.3)
- 3月20日(木) 第7回(主要議題:2014年度事業計画、FDハンドブック Vol.3頒布状況等に関する報告)

・FD フォーラム企画検討ワーキング

- 6月26日(水) 第1回(主要議題:委員長選出他)
- 7月30日(火) 第2回(主要議題:プログラム構成、全体テーマ、各委員担当テーマ、他)
- 9月25日(水) 第3回(主要議題:プログラム構成、報告者の経過報告、申し込みについて 他)
- 10月31日(木) 第4回(主要議題:プログラム構成)
- 1月31日(金) 第5回(主要議題:ポスターセッション選考、運営方法)

3月27日(木) 第6回(主要議題:第19回FDフォーラム実施報告・総括)

(2) SD 関係事業

・SD委員会

- 5月8日(水) 第1回(主要議題:正副委員長選出、各種事業について)
- 6月25日(火) 第2回(主要議題:SDフォーラム、大学職員共同研修他)
- 9月24日(火) 第3回(主要議題:SDフォーラム、大学職員共同研修他)
- 12月17日(火) 第4回(主要議題:大学職員共同研修)
- 2月25日(火) 第5回(主要議題:次年度事業について)

・海外留学派遣プログラム開発支援事業運営委員会(京都市・当財団共同事業)

- 4月26日(金) 第1回(主要議題:委員長選出、審査方法について)
- 6月4日(火) 第2回(主要議題:採択案件決定)
- 2月28日(金) 第3回(主要議題:次年度事業について)

・国際連携事業運営委員会

- 6月5日(水) 第1回(主要議題:委員長選出)
- 10月16日(水) 第2回(主要議題:平成26年度国際連携事業計画について・平成26年度京都市との新規事業について 他)

(3) 大学地域連携創造・支援事業(学まちコラボ事業)

・学まちコラボ選考会

- 6月7日(金) 第1回(主要議題:1次審査(書類審査))
- 6月29日(土) 第2回(主要議題:2次審査(公開プレゼンテーション審査))
- 10月30日(水) 第3回(主要議題:中間報告、次年度事業について)
- 2月5日(水) 第4回(主要議題:事業報告会について、次年度事業について)

(4) 都市政策研究交流事業

・都市政策研究会

- 4月12日(金) 第1回(主要議題:新体制、都市政策研究会の活動等について他)
- 6月14日(金) 第2回(主要議題:研究助成採択他)
- 9月13日(金) 第3回(主要議題:交流大会中間報告、審査基準について他)
- 10月11日(金) 第4回(主要議題:交流大会学生企画報告、事業見直しについて他)
- 11月29日(金) 第5回(主要議題:交流大会事前説明、事業見直しについて他)

(5) シンクタンク事業(未来の京都創造研究事業)

・未来の京都創造研究事業運営委員会

- 5月10日(金) 第1回(主要議題:指定課題のテーマ決定他)
- 6月28日(金) 第2回(主要議題:指定課題及び自由課題の研究者決定他)
- 11月8日(金) 第3回(主要議題:中間報告会)

IV. 学生交流事業部所管会議 開催報告について

(1) 第11回京都学生祭典事業

・第11回京都学生祭典 事務局会議

- | | |
|-----------|--------------------------------------|
| 2月22日(金) | 第1回(主要議題:第10回決算報告、第11回実行委員紹介、事業方針 他) |
| 5月31日(金) | 第2回(主要議題:施工警備業務委託について、東北企画報告、本祭概要 他) |
| 8月23日(金) | 第3回(主要議題:本祭実施企画、本祭リスク管理、来場者カウント方法 他) |
| 10月31日(木) | 第4回(主要議題:本祭開催報告、決算見込み、第12回準備会発足 他) |

・第11回京都学生祭典 企画検討委員会

- | | |
|----------|--------------------------------------|
| 2月28日(木) | 第1回(主要議題:第10回決算報告、第11回事業方針、営業活動方針 他) |
| 6月7日(金) | 第2回(主要議題:施工警備業務委託について、東北企画報告、本祭概要 他) |
| 8月29日(木) | 第3回(主要議題:本祭実施企画、本祭リスク管理、補正予算 他) |
| 11月6日(水) | 第4回(主要議題:本祭開催報告、決算見込み、第12回準備会発足 他) |

・第11回京都学生祭典 組織委員会

- | | |
|-----------|--------------------------------------|
| 3月13日(水) | 第1回(主要議題:第10回決算報告、第11回事業方針、営業活動方針 他) |
| 6月26日(水) | 第2回(主要議題:施工警備業務委託について、東北企画報告、本祭概要 他) |
| 9月3日(火) | 第3回(主要議題:本祭実施企画、本祭リスク管理、補正予算 他) |
| 11月22日(金) | 第4回(主要議題:本祭開催報告、決算見込み、第12回準備会発足 他) |

(2) 京都国際学生映画祭事業

・企画検討委員会

- | | |
|----------|---------------------------------|
| 5月31日(金) | 第1回(主要議題:コンペティション結果報告、企画案提出、他) |
| 7月11日(木) | 第2回(主要議題:1次審査状況報告、企画案提出、他) |
| 10月9日(水) | 第3回(主要議題:2次審査報告、企画案、授賞式案提出、他) |
| 2月14日(金) | 第4回(主要議題:第16回開催報告、第17回開催について、他) |

V. 総務・広報部所管会議 開催報告について

(1) 全国大学コンソーシアム協議会事業

・第10回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム実行委員会

- | | |
|----------|-----------------------------------|
| 4月24日(水) | 第1回(主要議題:役割分担・スケジュール・予算他) |
| 7月11日(木) | 第2回(主要議題:参加者増加にむけての周知方法、各企画の進捗状況) |
| 8月28日(水) | 第3回(主要議題:当日の会場運営、各企画の進捗状況および申込者数) |
| 9月25日(水) | 第4回(主要議題:フォーラムの総括) |

・全国大学コンソーシアム協議会運営委員会

- | | |
|----------|----------------------------------|
| 5月25日(土) | 第1回(主要議題:委員選任・決算・予算・事業計画等他) |
| 9月15日(日) | 第2回(主要議題:第10回フォーラム結果、第11回準備の進捗) |
| 3月8日(土) | 第3回(主要議題:委員選任・予算・第11回フォーラムについて他) |

・全国大学コンソーシアム協議会幹事会

- | | |
|---------|------------------------------|
| 6月7日(金) | 第1回(主要議題:会員退会・規約改正・規程改正) ※書面 |
| 3月8日(土) | 第2回(主要議題:代表幹事の選任) ※書面 |

(2) 調査・企画事業

①大学政策委員会

4月13日(土)	第4回幹事会(主要議題:財団第3ステージプラン総括文書検討他)
4月24日(水)	第3回委員会(主要議題:同上)
5月22日(水)	第5回幹事会(主要議題:ステージプラン総括、ワーキンググループ編成検討他)
7/17~8/6	大学政策委員会第1回WG(第1~第6WG)
9月6日(金)	大学政策委員会幹事会
9/18~10/8	大学政策委員会第2回WG(第1~第6WG)
10月30日(水)	大学政策委員会幹事会
11月13日(水)	大学政策委員会
12月11日~13日	加盟大学・短期大学規模別懇談会(大学のまち京都推進計画懇談会と共催)
1月10日~2月10日	第4ステージプラン答申 加盟大学意見メール受付(1か月間)
2月20日(金)	大学政策委員会幹事会
2月26日(木)	大学政策委員会

・大学のまち京都・学生のまち京都推進会議

(京都市からの委託事業)

7月5日(金)	第1回(主要議題)計画枠組み案、スケジュール、計画策定専門部会の設置
7/18~7/31	計画策定専門部会
10月17日(木)	計画策定専門部会
11月26日(火)	第2回推進会議
12月11日~13日	加盟大学・短期大学規模別懇談会(財団第4ステージプラン懇談会と共催)
1月10日~2月10日	パブリックコメント募集(1か月間)
2月20日	計画策定専門部会
2月25日	第3回推進会議

(3) 総務業務(法人運営)

・運営委員会

4月24日(水)	第1回(主要議題:2013年度財団年間スケジュールについて他)
5月22日(水)	第2回(主要議題:第10回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムについて他)
5月22日(水)	第1回幹事会(主要議題:2013年6月からのハラスメント相談員体制について)
6月12日(水)	第3回(主要議題:2012(平成24)年度事業報告及び決算)
7月24日(水)	第4回(主要議題:各事業部事業進捗報告)
9月25日(水)	第5回(主要議題:各事業部主要企画進捗報告)
10月3日(木)	第2回幹事会(主要議題:財団組織運営改善について、会員資格整理について)
10月23日(水)	第6回(主要議題:各事業部主要企画進捗報告)
10月30日(水)	第3回幹事会(主要議題:財団組織運営改善について、新規規程制定について)
11月13日(水)	第7回(主要議題:各事業部主要企画進捗報告)
12月18日(水)	第8回(主要議題:定款・規程変更案等について)
1月8日(水)	第4回幹事会(主要議題:定款・規程変更について、ハラスメント防止について)
1月15日(水)	第9回(主要議題:2013年度補正予算案について)
2月20日(木)	第5回幹事会(主要議題:会議の運営改善について、事業部の再編について)
2月26日(水)	第10回(主要議題:各事業部主要企画進捗報告)
3月12日(水)	第11回(主要議題:2014年度予算案について)

・総合企画会議

- | | |
|-----------|---|
| 4月11日(木) | 第1回(主要議題:2013年度財団年間スケジュールについて他) |
| 5月9日(木) | 第2回(主要議題:第10回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムについて他) |
| 6月6日(木) | 第3回(主要議題:2012(平成24)年度事業報告及び決算について他) |
| 7月11日(木) | 第4回(主要議題:各事業部事業進捗) |
| 9月12日(木) | 第5回(主要議題:各事業部事業進捗) |
| 10月10日(木) | 第6回(主要議題:各事業部事業進捗) |
| 11月7日(木) | 第7回(主要議題:各事業部事業進捗) |
| 1月9日(木) | 第8回(主要議題:2013年度補正予算案について他) |
| 2月13日(木) | 第9回(主要議題:各事業部事業進捗) |
| 3月6日(木) | 第10回(主要議題:2014年度予算案について他) |

・理事会

- | | |
|-----------|---|
| 6月13日(木) | 第1回(主要議題:2012(平成24)年度事業報告及び決算について他) ※書面 |
| 6月29日(土) | 第2回(主要議題:運営委員の辞任・選任について他) |
| 11月23日(土) | 第3回(主要議題:運営委員の辞任・選任について他) |
| 1月25日(土) | 第4回(主要議題:2013(平成25)年度補正予算について他) |
| 3月29日(土) | 第5回(主要議題:2014(平成26)年度事業計画及び予算について他) |

・評議員会

- | | |
|----------|-------------------------------------|
| 6月29日(土) | 第1回(主要議題:2012(平成24)年度事業報告及び決算について他) |
| 3月29日(土) | 第2回(主要議題:定款の変更について他) |

以上